

第4節 骨角器・貝製品

下郷コレクションにおける余山貝塚の骨角製・貝製の遺物は総点数で997点を数える。本資料はこれまでも多くの図録類に写真や実測図等が公開されてきたが、それは一部に限定され、コレクションとして収蔵されている全体数も判明しておらず、その全貌は不明確な部分を残してきた。しかしとくに骨角製品においては関東地方においてもっともまとまった資料であるため、今回の共同研究ではリストの作成を第一にして、個々の資料に記されている出土遺跡名を調べ、余山貝塚と墨書きの注記がなされているものの全点について一覧表を作成し器種と素材部位、残存状況について記載した。

なお、この数は遺物に墨書きで遺跡名が記されたものの数であるが、これ以外に500点余りの大量の貝輪が存在する。それらはいずれもベンケイガイ製とサトウガイ製のものであり、大半が未成品である。高島の調査履歴から考えても余山貝塚の可能性が高いものと判断されるが、上記の作業方針から今回は除外してある。

リスト化した骨角器の内訳は、ヤスが最多で592点、釣針103点、銚頭37点、装飾品9点といった製品と、鹿角を切断した素材や、切断痕のある角座などから構成されている。これまでも下郷コレクションの骨角器は成品を中心に紹介されている（例えば『千葉県の歴史』『東京国立博物館収蔵品報告骨角器』）。今回は各種非装飾品と共に骨角製漁撈具を中心にして図化をおこない、さらに製作工程にかかわると考えられる切断痕を残す鹿角も併せて観察と紹介をおこない、製作工程や再生利用の実態を検討するのに必要な資料群の特性について述べておきたい。

1. 骨角製装身具類（第14図－1～6）

1～3は鹿角を素材とした簪形の角器である。何れも上端部を欠損しているが、1、2は平板な断面形の頭部が造り出されており、その部分に細い線刻による装飾が施されている。2は頭部と身の部分を区分した部位で折損している。器体の表面には縦位の研磨痕が残されている。

1は3点の破片を継ぎ合せて1個体に復元しているが、それぞれが接合部分を持たないため同一の個体であることは確認できない。おそらく愛玩品の1つとして復元製作したのであろう。このような事例は本コレクション中の土器において類例を指摘することができる〔阿部2013〕。

4は鹿角製の装飾品で両端部に球頭状の造り出しが設けられ、糸巻型を呈している。中間部は中央部に菱形の透かし孔が設けられ、丁寧な研磨が施されている。各所に細い線刻による装飾が施されている。表裏の装飾は丁寧であることから、垂飾のようにして用いられた可能性が高い。

5、6はイノシシの腓骨を素材としていずれも下端を欠損しており、全体の形状は不明。6は骨針の可能性もある。両者ともに骨端部中央に穿孔が施されている。

2. 弓筈形骨角製品

比較的豊富な出土数があるが、ここでは製作工程のわかる資料を中心に図示する。8は鹿角の枝の先端部である。擦り切りによって切断された後に内部の海綿体を除去して穿孔している。切断面は平坦に研磨されている。表面には顆粒の凹凸が認められる。

9は外面が丁寧に研磨されているか、鹿角そのものが滑らかな面を残す素材を用いている。内部の海綿体が除去され8よりも深い穿孔が施されている。さらに切断面は平滑に研磨されている。

10は角の先端部を用いたタイプの完成形である。下部には太く浅い溝が周回している。海綿体は完全に除去されており、穿孔も深いため器体全体が薄く精巧な作りである。内部には海綿体を除去し

た後にさらに穿孔を続けたため、加工具を回転させた螺旋状の成形痕が観察される。下端部は特に作りが薄い。11は孔が貫通しており、外面の成形は10と類似している。10と11の形態上の違いは孔が貫通するか否かによって決まるが、それは7に示した素材の利用部位を見ればわかるように、角の先端部を利用した場合は10に、枝の中間部を利用すれば7になるため、両者の形態差を直ちに単純な時間差と考えることはできない。

7は若年個体の鹿角で幹部と枝部の各所に切断痕を残すものである。さらに幹部下端部には太い溝が周回し、その溝の形状は10、11のそれに酷似する。この場合、8、9では下部の溝は鹿角の先端部を切断した後に溝を造り出すのに対して、11のように幹の部分を利用したものは切断の前に溝を造り出すという工程の違いがあるようだ。7の下端部に残された切断面は比較的丁寧に研磨され、海綿体のある中心部には穿孔が施されている。おそらく11に見るような穿孔が貫通するタイプの素材を獲得したのであろうが、その場合は切断後に今度は上部より穿孔を行い、孔径を広げる必要があったであろう。角の先端部も切断痕が残るが、これは10のような穿孔が貫通しないタイプの素材として切断されたものと考えられる。

弓筈形骨角器はその名の由来の通り、穿孔部に何等かの棒状の部材が差し込まれて使用された器具であるが、その直径は約10mmと極めて類似性が高い。そのため、素材とされる鹿角は大型の成獣よりも若年個体の細い角の方が適している。7はそのことを示す典型的な残角と考えることができる。

3. 釣針（第15図－12～19）

余山貝塚の釣針は他の地域の釣針に比べて軸が異常に長い特有の形態をしていることが古くから指摘されている。本資料群にもその特徴が良く観察できるが、一方で異なる形態の釣針も存在し、その内容は単純ではない。資料の中には、軸の破片が多く発見され、中には骨針との区別が困難な資料もある。12は軸頂部と鉤先の先端部を欠損するが、正面観側が角の外表面となる。13は逆刺部分を欠損している。正面観は鹿角の内面である。軸頂部には紐掛けの機能を有する2本の刻みが施されており、器体長が短く全体に太身である。14は13と類似した形態の釣針の未成品である。正面観が鹿角の内面である。正面観の右側縁には素材の鹿角の縦位に裁断痕が残されている。軸頂部には切断痕が観察されるため、器体全体の長さはそれほど長くはない。軸の太さも太い。逆刺部分は欠損している。

15.16.18も未成品である。15は完形品で軸頂部は素材の切断痕が観察できる。正面観が鹿角の表面になり顆粒が観察できる。略長方形の素材を用い、軸と鉤先を造り出した段階で製作を中断したものである。鉤先の頂部も平坦に素材を面取りをしたのみで先端部の造り出しも未了である。

16は正面観が鹿角の表面である。下部は素材の切断部がそのままに残されており、軸頂部も欠損しているが、軸を造り出すために素材を細身に削り出して鉤先部分を確保した段階で作業が中断している。正面観の右側縁には鉤先部分を造り出すための面取りが表裏から加えられている。18は正面観が鹿角の表面になる。製作工程としては16と同様の段階のもので下端部には素材の切断痕が残されている。

17、19は器体長が長く軸の作りが細く精巧である。両者とも逆刺部を欠損しているが、長さに対して幅はそれほど大きくならないと考えられる。軸頂部には独特の造り出しがなされ、17には明確な紐掛け状の窪みが正面観左側に明瞭に確認できるが、19は軸部との間に段部が形成されているものの、目立った紐掛け部の加工が認められない。これらのタイプは余山貝塚を中心とした利根川下流

域に類例が多く、地域的な特徴を良く示しているが、明確な帰属時期や 12, 13 との差異が時間的なものか否かについては不明である。

4. 切断鹿角（第 16 図－20～28）

鹿角製角器の素材と思われる資料である。その中でも両端部に切断痕があるものをまとめた。これらは長さが約 60～100mm で幅 10～20mm 程度の短い板状素材である。大半は角幹を利用しているが、少数に枝分れする分岐部を板状に切断して用いるものがある。

20～26 は角幹部を利用したもので、縦截した後一定の長さに切りそろえたものと考えられる。図化したすべての資料は表面に顆粒が残る。図化は鹿角の表面側を正面観として示した。

20 は両側縁に切断痕が観察できる。また右側縁の縦位の切断面には切断部に沿うようにして細かな打痕が連続的に認められる。おそらく鹿角を縦截する際に施した切断溝から海綿質部分を打割する際にできたものと考えられる。本資料の緻密質が厚いことと関係するのであろう。正面観の右上端に切断痕を切るように表裏面から平坦面が研ぎ出されている。裏面上端には 1 条の刻線が見られる。緻密質が厚みをもつため、加工が表裏からおこなわれたのかもしれない。21 は両側縁に切断面を残し正面観左上端に研ぎ出し面が認められ右側上端部に 2 条の刻線が認められる。内面の加工は見られない。

22 は両側縁に切断痕を残し正面観左上端に研磨面を残す右上端部には 2 条の刻線が観察できる。下部には打割痕のような粗い切断痕を残す。23 は両側面に切断痕を残し右側縁部に小打撃痕が確認できる。正面観右側に研ぎ出し面が設けられており、裏面にも研磨面が確認できる。正面観左上端部には 1 条の刻線が刻まれる。24 は両側縁に切断痕を残し、上端部に広く片側から研ぎ出し面が形成される。正面観右側にとくに発達が顕著でその部分の断面はかなり薄くなっている。多くの類例に認められる上端部の刻線は認められない。

25 は両側縁に切断痕を残し、正面観左上方に研ぎ出し面を残すが、他例に比較すると未発達である。研ぎ出し面の反対側は表面を研磨した後に 2 条の刻線が表面から側面にかけて施されている。また表面の中央部付近に 1 条の溝が彫り込まれている。その上端部はちょうど研ぎ出し面の下端よりはじまる。26 は両側縁に切断痕を残し右側縁部側には打痕が連続して認められる。正面観右上端部に研ぎ出し面が観察され、反対側に 1 条の刻線が観察できる。

27・28 は撥形の鹿角の板状素材である。27 は下部の両端部を欠損している。正面観の上端部には水平に切断された際の刻線が認められる。両側縁に切断痕を残す。裏面の海綿質の空洞が扇状に開く点から、鹿角の角幹部ではなく分岐部を利用した可能性が高い。そのことは断面形の曲率が小さく板状であることからわかる。

28 も同様に分岐部を利用したと考えられる資料で両側縁に切断痕を残し、右側縁部には顕著な打痕が連続して認められる。下端部にも類似した切断痕が認められる。正面観右側の上端に研ぎ出し面が認められ、縦位の細線状の加工痕が認められ、裏面にも一部同様の加工痕が認められる。

金子は東京国立博物館収蔵の余山貝塚あるいは余山貝塚出土と推定される本資料の検討を行う中で、各種骨角器の初期段階の未製品についてはその存在を指摘していない [金子 2009]。本例がそうであるならば、初例の報告となる。

5. 単純銚頭（第 17 図－29～32、第 18 図－33～34）

銚頭は鹿の角を縦に割いて素材として用いたもので、大型のものは現存部のみで 150mm 余りの資料

もあるが、大半は全長 120 ～ 150mm 前後の個体が多い。いわゆる単純銚頭と呼称される類型である。ここでは素材の鹿角の表面側を表面、内側を裏面とし、実測面の表裏として示した。

29 は両側縁に 3 つの逆刺をもつ。逆刺は表裏面から溝を削り込むようにして設けられ、その形状から接触部がやや丸みを帯びた機能面をもつ板状砥石の側縁が想定できる。先端部は右側に曲がっており、先端部付近の側縁部は垂直に研磨面を形成しており、先端部を先鋭化するための加工と考えられる。柄部との間に隆起部をもち、窪みを設ける。器体断面は半截した鹿の角幹の形態を残し、半月形を呈している。表面は鹿角の表面の凹凸を除去し丁寧に研磨している。裏面は海綿質を残しているが、柄部は断面が略円形を呈するように加工されている。

30 は左側縁に 4 つ右側縁に 3 つの逆刺をもつ。先端部はペン先状に左右から急角度の研磨を加えて造り出しており、正面観の左側の研磨面が大きくそのため器体全体が左側に曲がる。基部は楕円形の断面形態をもつ。表面は丁寧に研磨が施されており、裏面は海綿質を残す。

31 は先端部を欠損しているが左右 3 個の逆刺をもつ。逆刺の先端を欠損している部分があり、本来は鋭い逆刺が左右に造り出されていたものと推測できる。先端部の断面は三角形を呈し基部は楕円形を呈する。

32 は基部を欠損しているものの、器体が現存部で 150mm と長く、本コレクション中でもっとも大型の個体である。左右の側縁に 5 つの逆刺を造り出している。先端部は正面観左側が長く研ぎ出され逆刺の位置が非対称となる。表面の基部付近は鹿角表面の凹凸が残る部分があるが、全体としては丁寧に研磨している。器体全体は他の資料に比較して薄手であり、裏面には海綿質の部分を残している。さらに器体全体が緩やかに湾曲しているので、素材の鹿角は大型のものではなく、緻密質の薄い鹿角を素材として用いた可能性が高い。

33 は左側縁に 5、右側縁に 3 つの逆刺を造り出す。表面は丁寧に研磨され、器体の断面形は先端部が三角形で器体中心は三日月を呈する。基部は略円形。先端部は正面観左側の研磨面が広く、左右が非対称形となる。裏面は海綿質を残している。

34 は左右に 3 つの逆刺をもつが左右の位置がずれている。表面は丁寧に研磨され裏面は海綿質を残す。器体断面は三日月形を成しており基部は楕円形である。先端部は正面観左側に幅の広い研磨面を形成している。

35 と 36 は鹿角を縦に切断したもので銚頭の素材と思われる。もちろん先に角器の素材として記載した 20 ～ 26 も製作工程の当初はこうした素材が分割されたものと考えられることができるため、鹿角幹部を利用する骨角器の一般的な製作工程の初期段階と考えるべきであろう。そのなかでも 35 は角座に近い部分の角幹部を縦位に裁断したもので上下両端部に切断痕を残すものである。側面図には鹿角の表面に形成される縦位の溝に沿って切断溝が設けられたことが良くわかる。溝は基部で左に湾曲しているのはそのためである。表面は顆粒が残る鹿角の表面がそのままに残されているが、基部側に細かな打痕が連続する場所がある。裏面は両側から切断用の溝が削り込まれ、それは緻密質を割り取っている状況が良くわかる。最終的には溝の内部に石斧などの厚みのある刃部をもつ石器などを刺し込んで割り取ったのであろう。本例はその長さからすれば銚頭の素材として準備された可能性が高い。

36 は長さが 180mm 余りの長大な切断鹿角である。基部には粗い打割による切断痕が残されている。上端部は欠損部もあるが正面観側は表面が摩耗しており、何等かの使用痕である可能性がある。断面がへう状を呈しているのも興味深い。裏面は海綿質部分がそのままに残されている。本例は角幹部の

ため全体が緩やかに湾曲しているが銚頭の中にも器体軸が斜めになるものが見られるので、その要因の1つとして鹿角本来の形状が反映した可能性が指摘できる。ただし、素材自体の湾曲は銚頭の形態を成形する段階で除去することも可能なので、むしろ素材の形状を利用して意図的に湾曲した器体を製作した可能性も指摘できる。この推測の妥当性は銚頭の先端部が非対称形を成すことと関連づけて説明することができるかもしれない。

37は銚頭の破損品の再利用したもので紐掛けの突起が残存している。基部が縦位に破損したものをうい、破損面を丁寧に研磨して先端部を成形して刺突具としたものである。側面図には左側面を図示している。38は銚頭の器体上半が欠損したものを再加工したものと考えられる。正面観の右側面に逆刺の痕跡が認められる。表面の先端部は全体的に縦位の研磨痕が良く残されている。裏面の右側面には再生にともなう成形の研磨が施されているが細身の形態に成形がなされているため、先端部付近の側面部の研磨は急角度をなし断面形態は端部が角をもつ。

39は器体の大半を欠損した基部の破片である。紐掛け突起を残して基部は完存する。その基部のサイズから大型の銚頭と考えられる。基部の断面形は略円形を呈している。

6. 骨鏃（第19図－40～44）

舌状の基部を造り出し先端部をもつもので器体長が40mmより70mmのものを骨鏃としてまとめた。素材は鹿角である。

40は器体長40mmの最も鏃身の短いものである。厚みをもつ素材を用いており器体の断面は半円形を成す。縦位の研磨が丁寧に施されている。基部は横方向の研磨により形成された研磨面が観察できる。41～42は基部と器体長が類似しており、先端を欠損しているが43も同じタイプに含められる。鹿角の表面が正面観に位置するように図示してある。いずれも裏面には海綿体が残存している。43の基部の成形痕は不明確である。

44は鹿角の平坦部を素材としたもので、平面形態が菱形を成し器体が他例に比較して薄手で器体と基部の区分が不明瞭である。側面は器体から基部まで側面は垂直に近い研磨が施されている。

これらの器種の素材として用いられた鹿角は裏面に海綿質が残存していることや、器体の厚さなどから判断すると、緻密質がそれほど厚くない鹿角を利用していることがわかる。

7. ヤス（第20図－45～55）

総点数で592点があり、本遺跡の骨角器の主体をなす器種である。鹿の中手・中足骨を素材としており、骨端を除去した後に管状部を4本に截断して素材とし、側面および先端を研磨して成形している。基部には関節面の平坦部をそのままに残すものが多い。また基部側の側面は粗い研磨痕がそのままに残されており、着柄時の滑り止めの効果を意図した調整かもしれない。

器体長は70mm、110mm前後、170mm前後のものが存在する。これらが当初からの作り分けであったのか、または使用による再生によって器体長を減じたものかは判断が難しい。45は短いタイプで細身であり、本来の小型品である可能性が高い。46は上半部に研磨面が残されており、大型品を再生した可能性がある。47は中型品であり、もっとも類例が多い。

48はコレクション中で最大のものである。幅も他に比べて広く基部には横位の研磨が複数の面を形成している。器体全体はよく研磨されており、擦痕が観察できないほど丁寧な研磨が施され光沢をもつ。

49～53は、素材や部位は同じであるが、先端部に再加工が施されるものがあり、これらは刺突具などの利器ではなく、加工具など別な機能をもつ道具として用いられた可能性が考えられる。先端部の形状は被加工物との接触によって規則的に磨滅しているようにも見え、折損したヤスが別の器具として再利用された可能性がある。特殊な研磨面は50では正面観の右上端部より槌状に形成され内部には縦位の擦痕が残されている。49ではさらに研磨面が発達し、それは表裏面にまで及ぶ。この部分の断面はへう状を成しており、本来のヤスとは大きく変形している。そうした摩耗が基部付近にまでおよんだものが51や52と思われ、先端部付近は薄いへう状を成している。

52は側縁部に顕著な縦位の使用痕が認められるもので、前例とは異なる特徴をもつ。これらの再生利用品と考えられる資料は、器体長と摩耗面の発達の度合いが相関しており、利用の度合いを示すようである。何等かの被加工物を研磨することによって対象物との接触面が変形したものと考えられる。現時点では他の遺跡の類例を知らない。なお、同様の資料は東京国立博物館の収蔵資料中にも確認することができ、本来は数多くの発掘においても出土していた可能性がある〔金子2009〕。

54・55はヤスの素材と考えられる切断されたシカの中手・中足骨である。両側縁に擦り切り痕が残されており、上下端が折損している。全資料のなかで2点のみであることは、完成品やその欠損品が膨大であることから考えると不思議である。釣針や銚頭などに未成品やその素材が存在しているので、発掘時に取り残されたのか、あるいは実際の出土量が少なかったのかは不明であるが、この事実は興味ある課題である。

なお、図化していないが鹿角の角座部分も多く存在する。その大半は角座より上部には切断痕が残されており、鹿角の使用度の高さを示している。中には落角を利用したものもあり、狩猟の対象獣のみでなく、遺跡の周辺で採集した落角も計画的に利用された可能性が高い。

8. 小結

余山貝塚の骨角器は漁撈具などの直接生産用具が主体を占めており、全体量が多いからか、装飾品などは目立たない。それほどに漁撈具が多いということであろうが、これらに用いられた骨角の素材からみた場合、シカが圧倒的に多い。その出土量の多さから見た場合、これらの素材が通常の狩猟活動のみから供給されていたのか、あるいは素材として鹿角や中手、中足骨が入手されたのかということ

を検討する必要がある。そのためには遺存体の個体数や部位別の遺存率などの分析が必要になる。

余山貝塚の骨角器や貝輪類は明治時代より多くの採集活動の報告の中で、広く周知されていたが、全体の調査例からみた場合、今日までの報告例はきわめて限られていたことは明白であるから、その実数は膨大な量であったことは間違いない。この推測は今回報告の下郷コレクションの内訳からも支持されることである。

しかしながら、本資料も含めて多くが個人的な採集品であり、出土状況の詳細が不明であったため、考古学的な研究の対象とされることは意外に少ない。余山貝塚の骨角器の形態学的な記載は金



第13図 簞の刺さったマダイの頭骨〔大野1926〕

子浩昌による報告が嚆矢であり〔金子 1959〕、豊富な資料の割にその後の研究事例も限られている。

金子によると魚類としては、サメ類、アカエイ、トビエイ、カタクチイワシ、ボラ、スズキ、マダイ、サワラ、イシガレイ、フグ類、コチなどが記載され、クロダイが最多でフグ類やスズキも多いという。またウミガメやイルカ類も存在するものの、特に多いというわけではないとされている〔金子 1959〕。かつて茨城県稲敷市椎塚貝塚から採集されたタイに刺さった状態で出土したヤスはその機能が突き獵にあったことを良く示しているが（第 13 図）、タイのみでなくスズキやクロダイにおいてもこうした漁法が発達していたとすれば、それは余山貝塚の骨角製漁撈具の特質の一端として理解できる。

これは余山の骨角製漁撈具の構成から想像される漁撈活動とはややかけ離れたものに映るかもしれないが、漁撈活動自体は対象動物により技術的な熟練度の違いや、専門的な集団が存在したであろうから、これらは単なる量的な関係からのみでその実態を評価できるものではない。また、後期前葉から晩期初頭までの貝塚の形成期間を考慮した場合に重要となるのは、これらの活動の規模の大きさよりも、むしろ漁撈活動の継続性ではないだろうか。

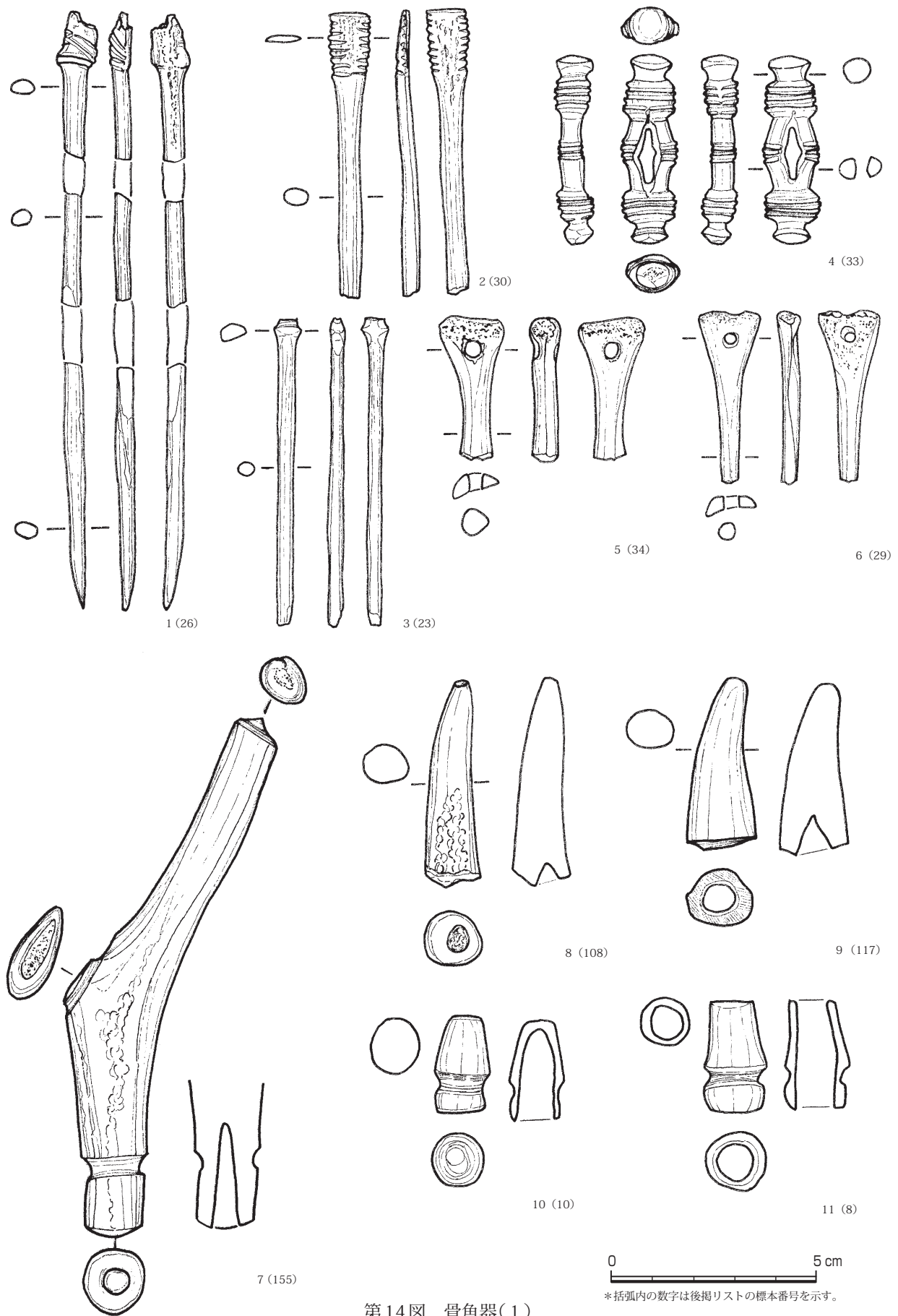
さらにこれまで骨角器の形態的な特徴から指摘されてきた釣針や単純鈎頭の地域的な特性は、現利根川下流域や霞ヶ浦や印旛沼を含めた古鬼怒湾沿岸の地域社会において、外洋資源の入手と流通にかかわる集団の在り方として余山貝塚のみの問題としてだけでなく、地域社会の中での遺跡のもつ性格やその意義について考えるべきであろう。

今日に至るまで、骨角器や動物遺存体の時期的な関係は不明確であり、出土土器の多寡からその大半が加曾利 B 式期から安行式期とされているが、今日の縄文時代研究において土器型式の細別時期が最小単位とされる現状において、これらの時間単位における余山貝塚の漁撈活動の実態解明は現在でも重要な課題として残されている。

本論の作成に際して骨角器の素材の判定では樋泉岳二氏に、余山貝塚における動物遺存体について植月学氏に教示を受けた。感謝の意を表したい。なお本研究は文部科学省科学研究費基盤研究 B 課題番号 24320159（研究代表者阿部芳郎）の一部が含まれている。（阿部芳郎）

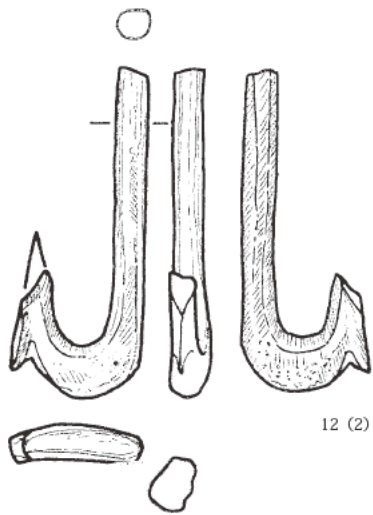
【参考文献】

- 阿部芳郎 2012 「土器の補修方法からみたコレクションの形成過程」『共同研究成果報告書 6－「高島多米治と下郷コレクションについて」（福田貝塚・椎塚貝塚編）－』大阪歴史博物館；pp.55-60
- 大野延太郎 1926 「漁撈」『遺跡遺物よりみたる日本先住民の研究』磯部甲陽堂
- 金子浩昌 1959 「石器時代の漁撈活動」『千葉県石器時代遺跡地名表』千葉県教育委員会
- 金子浩昌 2009 「Ⅱ 千葉県銚子市余山貝塚出土骨角器の研究」『骨角器集成』東京国立博物館
- 忍沢成視 2004 「（4）骨角貝製品収集資料」『千葉県の歴史』資料編考古 4（遺跡・遺物）
- 酒詰伸男 1963 「千葉県銚子市余山貝塚発掘調査概報（中篇）」『文化学年報』第 12 輯，同志社大学文化学会；pp.125-145

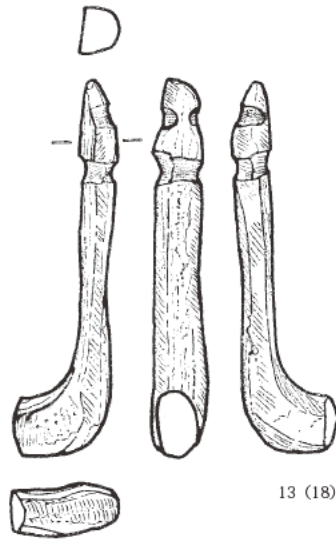


第14図 骨角器(1)

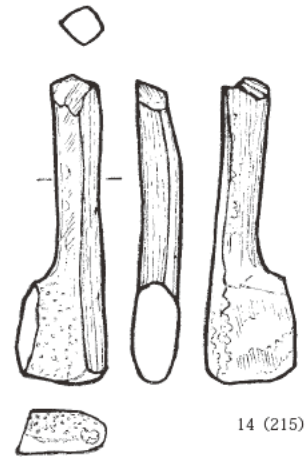
? 48 12
50
57
58



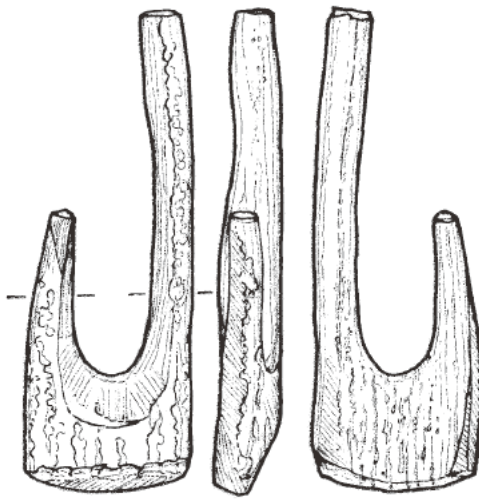
12 (2)



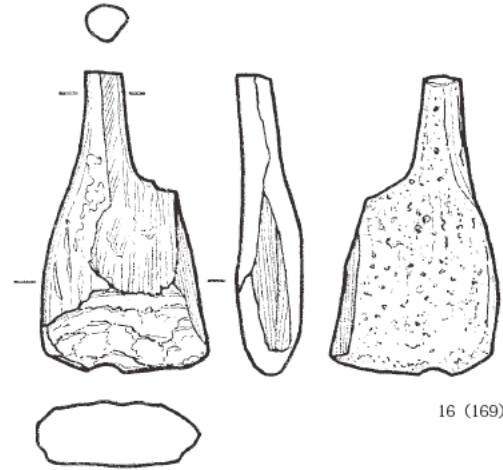
13 (18)



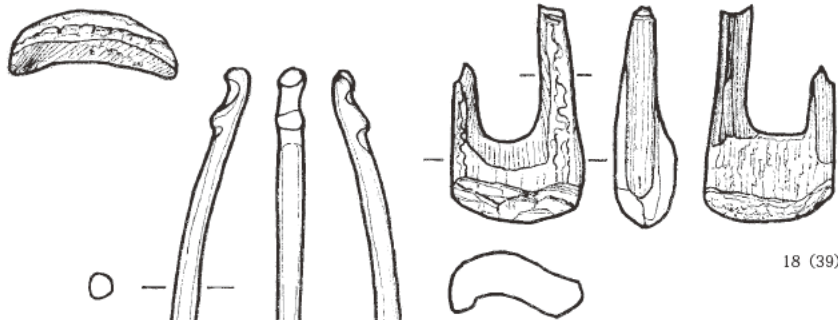
14 (215)



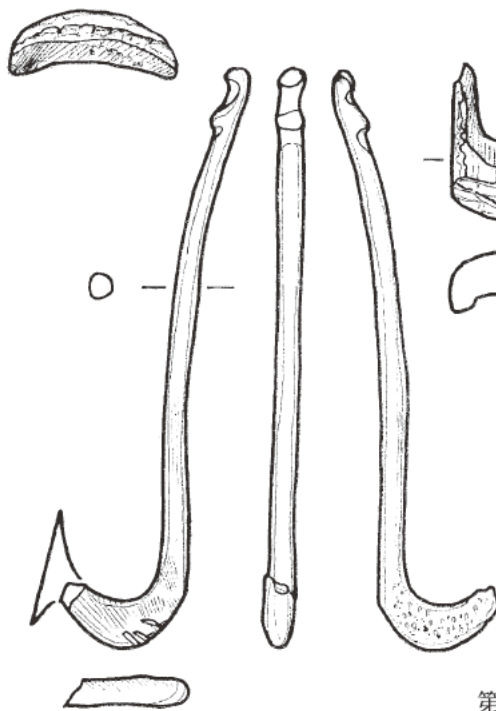
15 (1)



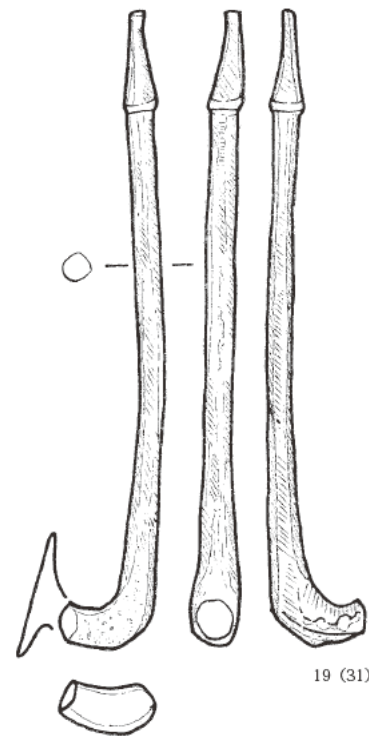
16 (169)



18 (39)



17 (32)



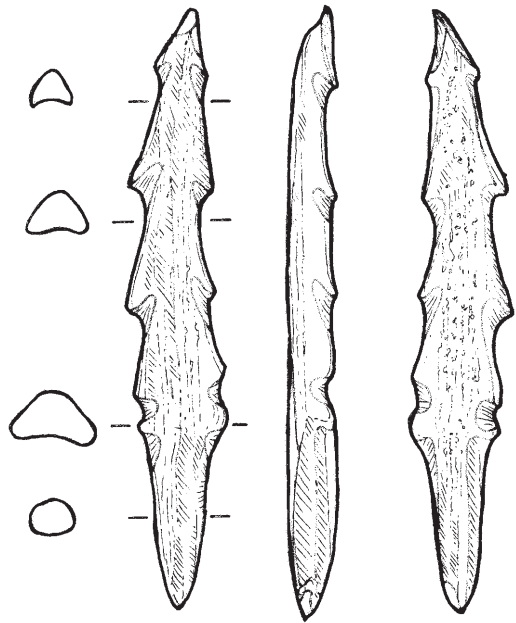
19 (31)

0 5 cm

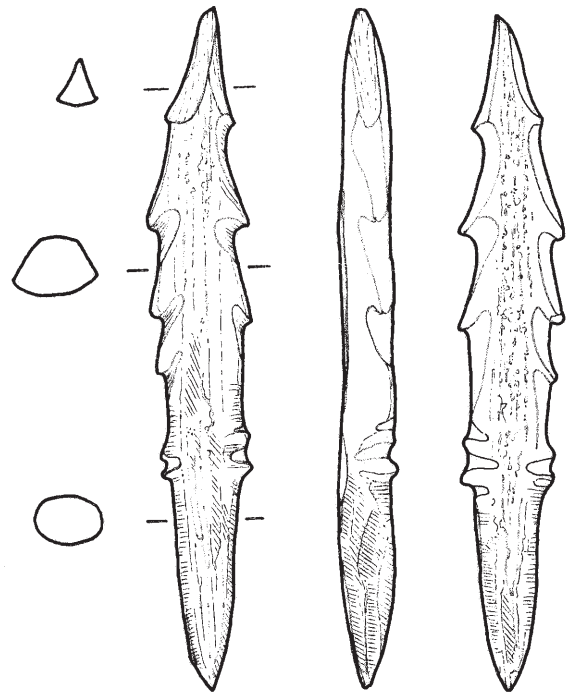
第15図 骨角器(2)



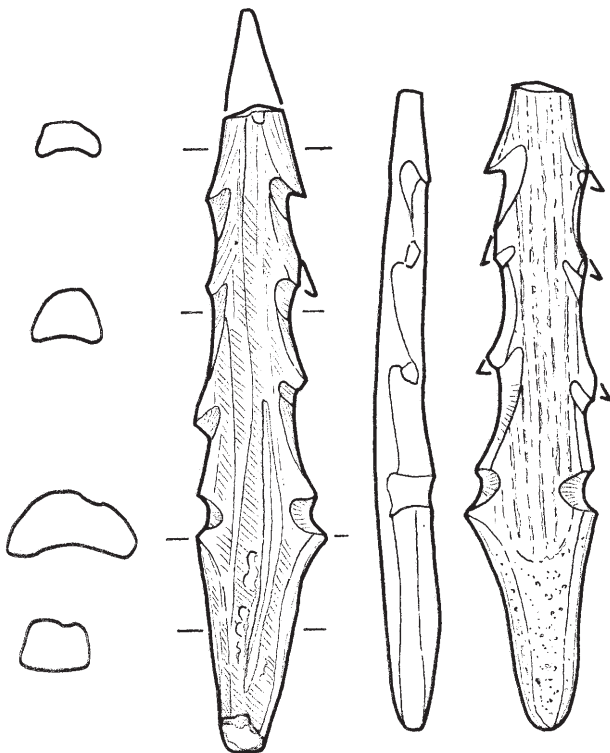
第16図 骨角器（3）



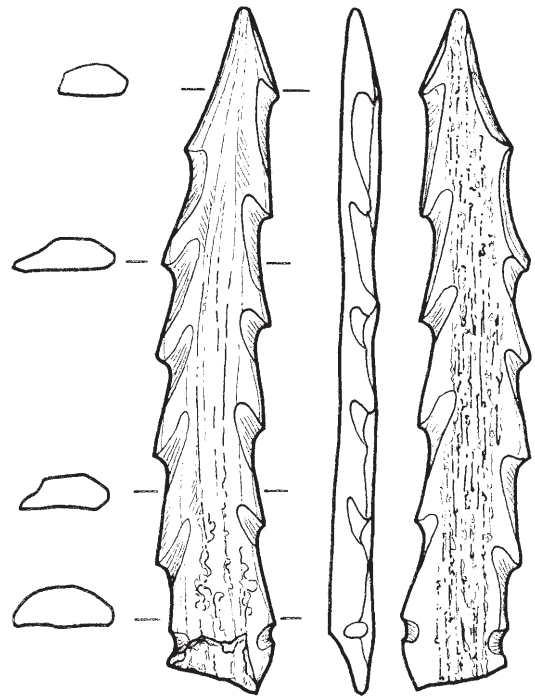
29 (5)



30 (4)



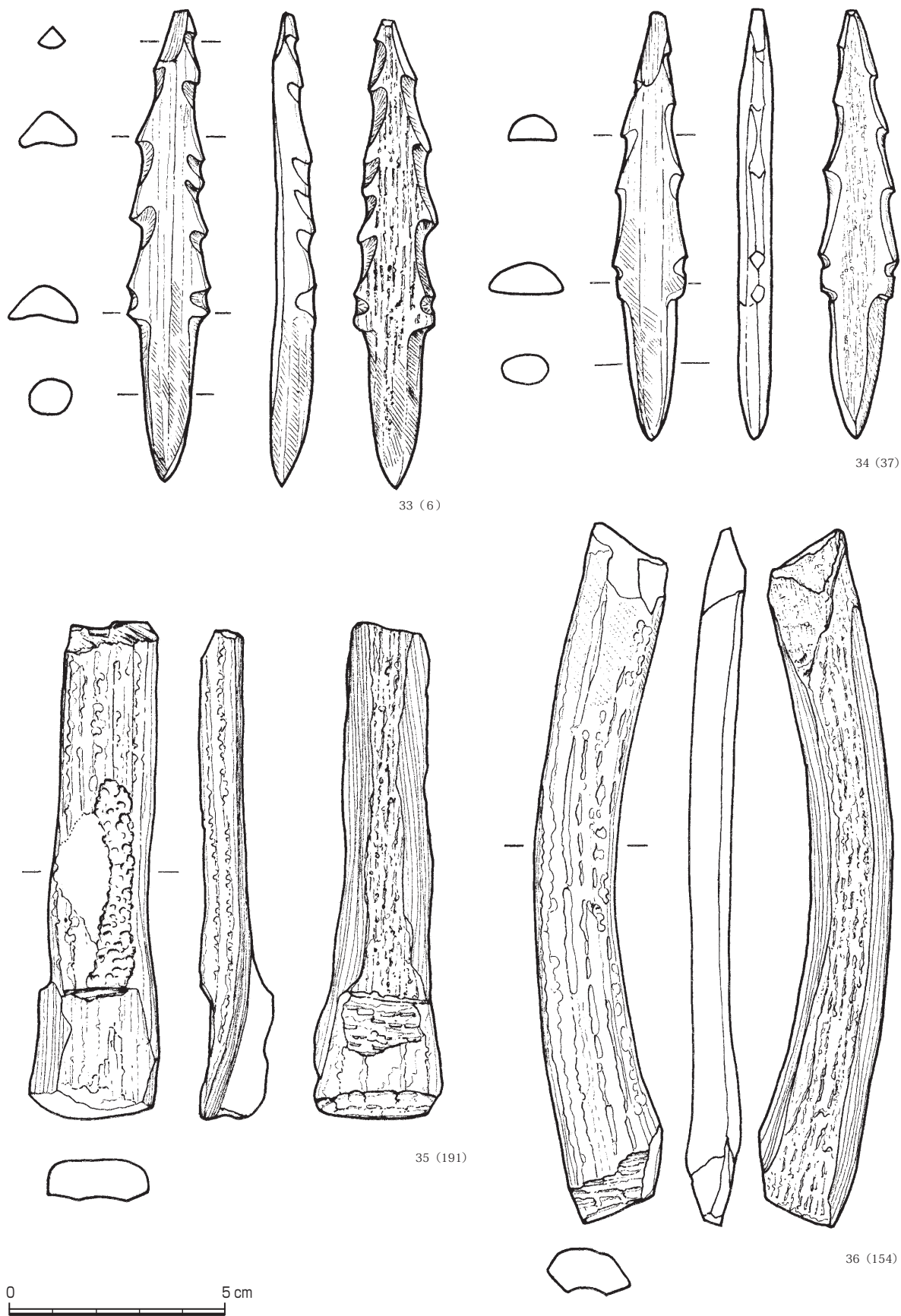
31 (38)



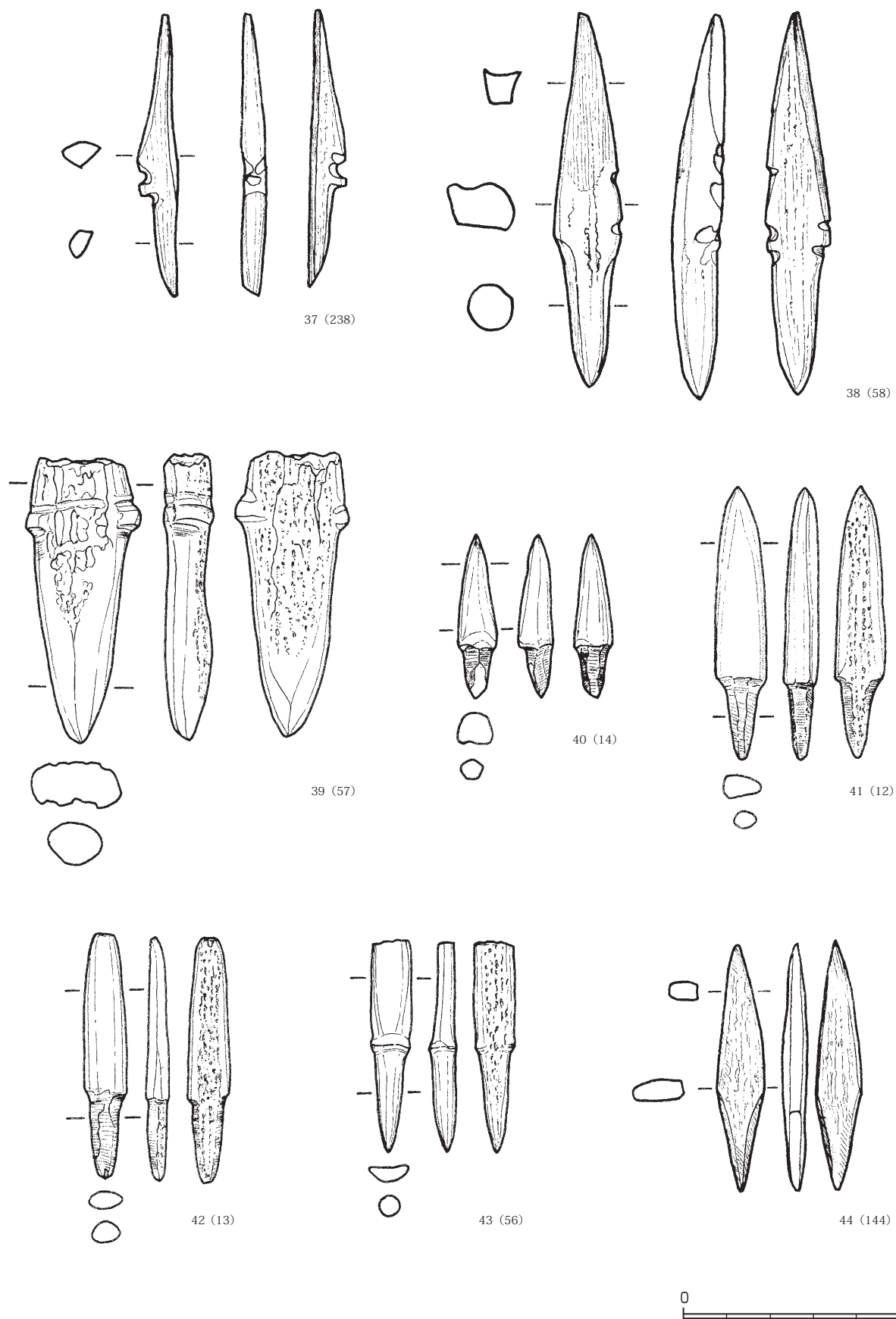
32 (3)



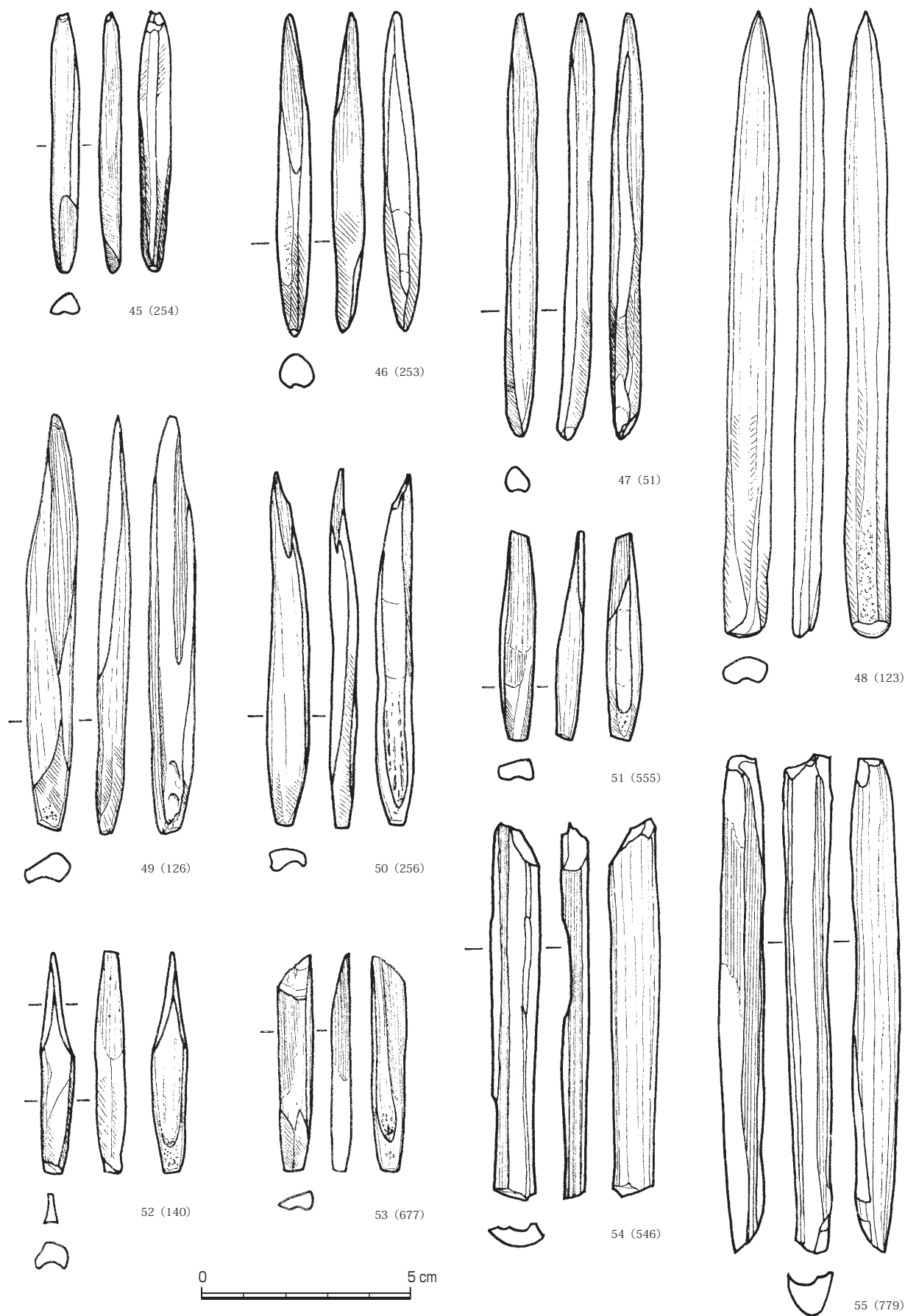
第17図 骨角器(4)



第18図 骨角器(5)



第19図 骨角器(6)



第20図 骨角器(7)

第6表 骨角器

(作成担当:阿部・樋泉・加藤)

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
1	余山	1066	鈎針未成品	完形	97	35	11	シカ	角	
2	余山	106X	鈎針	逆刺部	(65)	27	6	シカ	角	紙状のもので接合した痕跡あり。
3	余山	1058	鋸頭	基部欠損	(134)	(26)	(10)	シカ	角	両側に逆刺。
4	余山	1058	鋸頭	ほぼ完形	133	20	13	シカ	角	両側に逆刺。
5	余山	-	鋸頭	ほぼ完形	120	20	10	シカ	角	両側に逆刺。基部が黒色付着。
6	余山	1058	鋸頭	ほぼ完形	122	22	10	シカ	角	両側に逆刺。基部に黒色付着。
7	余山	1063	弮	完形	41	23	22	シカ	角	
8	余山	1063	弮	ほぼ完形	31	18	17	シカ	角	
9	余山	1063	弮	完形	34	16	16	シカ	角	
10	余山	1063	弮	完形	27	16	15	シカ	角	貫通しない。
11	余山	1075	装飾品	頭部	(32)	(30)	(26)	シカ	角 (角座)	
12	余山	1056	鏃	完形	70	13	9	シカ	角	
13	余山	-	鏃	先端部欠損	(63)	(11)	(5)	シカ	角	
14	余山	-	鏃	先端部欠損	(43)	(11)	-	シカ	角	
15	余山	-	鏃	先端部欠損	(44)	(11)	-	シカ	角	
16	余山	-	鈎針	軸頂部	(33)	5	5	シカ	角	
17	余山	-	鈎針	湾曲部	(27)	24	5	シカ	角	逆刺あり。
18	余山	-	鈎針	軸頂部～湾曲部	74	(18)	(9)	シカ	角	軸頂部に凹線2条。
19	余山	-	鈎針	軸部	(96)	(17)	(6)	シカ	角	
20	余山	-	鈎針	軸部	(65)	(11)	(4)	シカ	角	軸頭部に2箇所の突起。
21	余山	1054	針	先端部	(54)	(6)	(5)	シカ	角	
22	余山	-	鈎針	軸部	(101)	(5)	(5)	シカ	角	軸頭部を角錐状に加工。
23	余山	1073	かんざし	軸部	(84)	(6)	(4)	シカ	角	端部に両側へ張出す小突起あり。
24	瀬澤	1172	針	先端部	(97)	(6)	(5)	シカ	角	25と紙状のもので接合されていた。
25	余山	107X	針	軸部	(76)	(5)	(5)	シカ	角	螺旋状に刻み。24と紙状のもので接合されていた。
26	余山	10XX	かんざし	※	(164)	(5)	(4)	シカ	角	頭部・中間部・先端部(各々別個体)の3破片を紙状のもので接合。
27	-	-	非加工	-	-	-	-	アホウドリ科	左桡骨(近位端～骨幹)	
28	余山	1073	かんざし	頭部	(26)	(8)	(4)	シカ?	角?	恐らく頭部と思われる小破片。6～7条の刻みをいれ、穿孔。
29	余山	1060	針	頭部	(46)	(16)	(4)	イノシシ	右胛骨遠位端(骨端はずれ)	撥形頭部。穿孔あり。
30	余山	1073	かんざし	頭部	(77)	(11)	(3)	シカ?	角?	撥形頭部の側縁に8条の刻み。
31	余山	1065	鈎針	逆刺部欠損	126	(20)	(6)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
32	余山	1188	鈎針	逆刺部欠損	(115)	(25)	(6)	シカ	角	湾曲部に「余山」、軸部に「1188」の注記。
33	余山	1072	装飾品	完形	51	15	7	シカ	角	縦長の中央部分で両端対称文様を施す。中央に菱形の穿孔あり。
34	余山	1060	針	先端部欠損	(39)	(17)	(8)	ウミガメ	指骨	撥形頭部。穿孔あり。
35	余山	-	切断痕のある鹿角		-	-	-	シカ	角(角座、落角)	
36	余山	-	貝輪未成品		61	68	-	ベンケイガイ		第1行程。
37	余山	1058	鋸頭	完形	111	19	10	シカ	角	両側に逆刺がつく。
38	余山	-	鋸頭	先端部欠損	(129)	(25)	(11)	シカ	角	先端部が欠損。両側に逆刺がつく。基部に黒色部分。
39	余山	-	鈎針未成品	先端部・軸頂部欠損	(44)	28	(6)	シカ	角	
40	余山	-	ヤス	完形	85	8	7	シカ	中手／中足骨骨幹	
41	余山	-	切断痕および加工痕のある鹿角		(79)	(28)	(14)	シカ	角	縦半截。横位の切断未遂痕跡あり。
42	余山	-	鈎針	軸部	(63)	(15)	(5)	シカ	角	
43	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(49)	(5)	(5)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
44	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(74)	(4)	(4)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
45	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	下顎12左	
46	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(46)	(6)	(6)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
47	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(78)	(6)	(7)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
48	余山	-	ヤス	完形	125	12	8	シカ	中手／中足骨骨端	中央で折れ。
49	余山	-	ヤス	完形	104	10	7	シカ	中手／中足骨骨幹	
50	余山	-	ヤス	完形	124	9	8	シカ	中手／中足骨骨幹	中間部に付着物。
51	余山	1054	ヤス	ほぼ完形	113	9	7	シカ	中手／中足骨骨端	(縦書きで)「40十四号」か?
52	余山	-	ヤス	完形	102	9	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。(縦書きで)「40九号」。
53	余山	-	ヤス	完形	103	11	7	シカ	中手／中足骨骨端	
54	余山	1054	ヤス	完形	103	8	4	シカ	中手／中足骨骨幹	
55	余山	-	ヤス	完形	100	7	7	シカ	中手／中足骨骨幹	(縦書きで)「41四号」。
56	余山	-	鏃	先端部欠損	(55)	(10)	(5)	シカ	角	
57	余山	-	鋸頭	基部	(74)	(30)	(13)	シカ	角	
58	余山	-	鋸頭	完形	96	18	10	シカ	角	先端を再加工。
59	余山	1081	非加工	-	-	-	-	シカ	角	用途不明。
60	余山	1061	鏃	先端部欠損	(65)	(14)	(7)	イノシシ	下顎犬歯(♂)	
61	余山	-	ヤス	先端部	(70)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
62	-	-	非加工	-	-	-	-	鳥類(同定不可)	桡骨(骨幹)	比較的大型の鳥
63	余山	-	ヤス	先端部	(71)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
64	余山	-	ヤス	先端部	(66)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
65	余山	-	ヤスカ	先端部	(74)	(9)	(7)	シカ?	角?	
66	余山	-	ヤス	基部	(89)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
67	余山	-	鋸頭	先端部	(46)	(14)	(8)	シカ	角	両側に逆刺がつく。
68	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	角	鹿角先端あるいは鈎針頂部や弓筈に見える。
69	余山	-	切断痕のある骨	-	(30)	(8)	(6)	鳥類?	四肢骨骨幹	
70	余山	-	ヤス	中間部	(38)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱により黒化。
71	余山	-	針か	中間部	(46)	(8)	(6)	シカ	角	被熱により黒化。
72	余山	-	ヤス	中間部	-	-	-	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱により炭化。
73	余山	-	ヤス	中間部	(44)	(7)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱により黒化。
74	余山	-	ヤス	先端部	(47)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
75	余山	-	ヤス	中間部	(33)	(7)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱により黒化。76と接合する。
76	余山	-	ヤス	基部	(44)	(7)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱により黒化。75と接合する。
77	余山	-	ヤス	基部	(46)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	被熱により黒化。

第1部 調査報告

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
78	余山	-	銚頭	基部	(42)	(14)	(9)	シカ	角	被熱により黒化。
79	余山	-	銚頭	基部	(60)	(18)	(8)	シカ	角	
80	余山	-	銚頭	基部	(33)	(12)	(9)	シカ	角	
81	余山	-	ヤス	中間部	(56)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	茶褐色化。
82	余山	-	ヤス	中間部	(54)	(8)	(4)	イノシシ	左腓骨骨幹	茶褐色化。
83	余山	-	ヤス	中間部	(46)	(8)	(4)	イノシシ	右腓骨骨幹	茶褐色化。
84	余山	-	棒状製品	中間部	(40)	(5)	(4)	シカ?	角?	針か。
85	余山	-	棒状製品	中間部	(61)	(6)	(6)	シカ?	角?	針か。
86	余山	-	ヤス	中間部	(41)	(11)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
87	余山	1073	釣針か	軸部	(68)	(5)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	針の可能性も。
88	余山	-	釣針	軸部	(53)	(5)	(4)	シカ	角	
89	余山	-	釣針	軸部	(64)	(6)	(5)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
90	余山	-	釣針	軸部	(51)	(5)	(5)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
91	余山	-	釣針	軸部	(46)	(6)	(6)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
92	余山	-	釣針	軸部	(71)	(6)	(6)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
93	余山	1073	棒状製品	中間部	(57)	(5)	(5)	シカ?	角?	針か。
94	余山	-	釣針	逆刺部	(45)	(8)	(7)	シカ	角	
95	余山	-	銚頭	先端部	(26)	(10)	(6)	シカ	角	
96	余山	-	簾	基部欠損	(28)	(8)	(5)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
97	余山	-	装飾品	頭部	(19)	(8)	(5)	シカ?	角?	
98	余山	-	簾	基部	(40)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
99	余山	-	釣針	軸頂部	(28)	(5)	(5)	シカ	角	
100	余山	-	釣針	逆刺部	(42)	(5)	(5)	シカ	角	
101	余山	-	簾	完形	52	9	6	シカ	角	
102	余山	1067	装飾品	中間部	(31)	(5)	(5)	鳥類	四肢骨骨幹	
103	余山	-	針	先端部	(74)	(5)	(3)	シカ	角	(縦書きで)「40 四号」。
104	余山	-	針	中間部	(60)	(4)	(4)	シカ?	角?	105 と同一個体か。
105	余山	-	針	先端部	(45)	(4)	(4)	シカ?	角?	104 と同一個体か。
106	余山	-	銚頭	基部	(59)	(18)	(10)	シカ	角	
107	余山	-	切断痕のある鹿角	先端部	(57)	(15)	(14)	シカ	角	
108	余山	-	銚頭	基部	(51)	(20)	(9)	シカ	角	
109	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(64)	(16)	(15)	シカ	角	
110	余山	1079	銚頭	基部	(42)	(16)	(9)	シカ	角	
111	余山	1083	釣針未成品	軸部	(66)	(11)	(7)	シカ	角	
112	余山	1081	銚頭	基部	(39)	(15)	(11)	シカ	角	
113	余山	1079	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
114	余山	-	銚頭	基部	(39)	(16)	(9)	シカ	角	
115	余山	-	切断痕のある鹿角	先端部	(53)	(16)	(14)	シカ	角	
116	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(59)	(14)	(13)	シカ	角	
117	余山	-	切断痕のある鹿角片	先端部	(47)	(19)	(14)	シカ	角	
118	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(57)	(15)	(13)	シカ	角	
119	余山	1081	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
120	余山	1079	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
121	余山	-	銚頭	基部	(31)	(13)	(7)	シカ	角	
122	余山	-	不明	-	(72)	(32)	-	シカ	角	奇形鹿角に穿孔。
123	余山	-	ヤス	完形	168	11	6	シカ	中手／中足骨骨幹	基部に黒変箇所あり。
124	余山	-	ヤス	完形	118	12	9	シカ	中手／中足骨骨幹	(縦書きで)「40 十五号」。
125	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ	四肢骨骨幹	
126	余山	-	ヤス	完形	112	12	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
127	余山	-	刺突具	先端部	(90)	(12)	(11)	シカ	角	断面円形
128	余山	1054	ヤス	完形	98	9	8	シカ	中手／中足骨骨幹	先端一部欠損。
129	余山	1054	ヤス	完形	97	11	7	シカ	中手／中足骨骨幹	
130	余山	1054	ヤス	完形	90	12	8	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
131	余山	1054	ヤス	完形	78	7	7	シカ	中手／中足骨骨幹	
132	余山	-	ヤス	完形	75	10	8	シカ?	中手／中足骨骨幹?	再加工。
133	余山	-	ヤス	基部	(84)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
134	余山	1054	ヤス	基部	(65)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
135	余山	-	簾	基部	(53)	(10)	(6)	シカ	角	
136	余山	10XX	装飾品	完形	27	10	7	鳥類	四肢骨骨幹	垂飾(螺旋状の刻み)か。
137	余山	1054	ヤス	完形	81	11	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
138	余山	-	針	基部	(60)	(6)	(5)	シカ?	角?	
139	余山	1056	簾	中間部	(37)	(11)	(6)	シカ	角	
140	余山	1054	ヤス	完形	60	9	8	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
141	余山	-	釣針	軸頂部	(32)	(9)	(7)	シカ	角	軸頭部を吸口状に加工。
142	余山	-	簾	先端部	(53)	(13)	(7)	シカ	角	
143	余山	-	ヤスカ	完形	59	9	5	シカ	中手／中足骨骨幹	
144	余山	-	簾	完形	64	13	6	シカ	角	
145	余山	1079	切断痕のある鹿角片	先端部	(59)	(15)	(11)	シカ	角	
146	余山	1079	切断痕のある鹿角片	先端部	(59)	(14)	(13)	シカ	角	
147	余山	-	切断痕のある鹿角片	先端部	(59)	(13)	(9)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	刺突具か。
148	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ	四肢骨骨幹	
149	余山	-	釣針素材	完形	73	24	7	シカ	角	
150	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	中手／中足骨骨幹	
151	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(84)	(17)	-	シカ	角	
152	余山	-	切断痕のある鹿角片	-	(105)	(27)	-	シカ	角	縦半截。横位の切断痕も。粗割状態か。
153	余山	1078	切断痕及び加工痕のある鹿角片	先端部	(112)	(12)	-	シカ	角	横位の切断未遂痕。
154	余山	-	切断痕のある鹿角片	-	(181)	(22)	-	シカ	角	縦半截。横位の切断痕も。粗割状態か。
155	余山	-	切断痕及び加工痕のある鹿角	枝部～幹部	(147)	(19)	-	シカ	角	刃の削出し途中。幅の計測は製品成形部分。
156	余山	-	切断痕のある鹿角	枝部	(70)	(48)	24	シカ	角	
157	余山	-	切断痕のある鹿角	枝部	(87)	(93)	-	シカ	角	
158	余山	-	切断痕のある鹿角	角座～枝部	(131)	(45)	-	シカ	角(角座、落角)	計測は枝部。

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
159	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(137)	(42)	-	シカ	角	計測は枝部。
160	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(137)	(32)	-	シカ	角	
161	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(71)	(46)	-	シカ	角（角座、落角）	
162	余山	-	切断痕のある鹿角	枝部	(59)	(30)	-	シカ	角	
163	余山	-	鈎針素材	-	(75)	(22)	-	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。
164	余山	-	鈎針素材	-	(68)	(20)	-	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。
165	余山	-	鈎針素材	-	(67)	(27)	(8)	シカ	角	縦截。板状。粗割状態か。
166	余山	-	鈎針素材	-	(63)	(17)	(11)	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。
167	余山	-	鈎針素材	-	(72)	(26)	(14)	シカ	角	縦半截。粗割状態か。
168	余山	-	鈎針素材	-	(64)	(20)	(14)	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。
169	余山	-	鈎針未成品	軸頂部欠損	(60)	(34)	(13)	シカ	角	
170	余山	-	鈎針素材	-	(68)	(14)	(12)	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。
171	余山	-	切断痕のある鹿角	-	(72)	(23)	(18)	シカ	角	
172	余山	-	鈎針素材	-	(79)	(29)	(9)	シカ	角	縦截。板状。粗割状態か。
173	余山	1081	鈎針素材	-	(71)	(17)	(7)	シカ	角	針（撥状頭部）の未製品か？
174	余山	-	鈎針素材	-	(73)	(20)	(11)	シカ	角	粗割状態だが、軸部の形状もうかがえる。
175	余山	-	切断痕のある鹿角	先端部	(67)	(26)	-	シカ	角	
176	余山	-	鈎針素材	-	(81)	(28)	(10)	シカ	角	縦截。板状。粗割状態か。
177	余山	-	鈎針素材	-	(76)	(19)	(8)	シカ	角	縦截。板状。粗割状態か。
178	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(53)	(48)	-	シカ	角	
179	余山	-	非加工か	-	-	-	-	シカ	角	鹿角。
180	余山	-	加工痕のある鹿角片	先端部	(28)	(11)	-	シカ	角	
181	余山	-	切断痕のある鹿角片	幹部	(75)	(43)	-	シカ	角	引素材か。幅の計測は枝部。成形部分は切除。
182	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(80)	(26)	-	シカ	角	
183	余山	-	鈎針素材	-	(97)	(23)	(12)	シカ	角	縦截。粗割状態。ゆるく湾曲。
184	余山	-	鈎針素材	-	(90)	(19)	(10)	シカ	角	縦截。やや板状。ゆるく湾曲。
185	余山	-	切断痕のある鹿角	幹	(87)	(29)	-	シカ	角	
186	余山	-	切断痕のある鹿角	幹	(105)	(33)	-	シカ	角	
187	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(65)	(32)	-	シカ	角（角座、落角）	
188	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(81)	(56)	-	シカ	角（角座、落角）	角座面は 61 × 53mm。
189	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(65)	(17)	-	シカ	角	
190	余山	1081	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
191	余山	-	切断痕のある鹿角片	幹部	(129)	(34)	(14)	シカ	角	縦截。粗割状態。かつ板状素材を取りだした後の状態。厚みは半截後のもの。
192	余山	1081	切断痕のある鹿角片	枝部	(161)	(27)	-	シカ	角	
193	余山	1081	非加工	-	-	-	-	シカ	角	鹿角先端。
194	余山	1084	非加工	-	-	-	-	クジラ	椎骨（椎頭板）	
195	余	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	右下顎犬歯（♂）	切損しているため本来あった「余山」の注記の「山」が失われている。
196	余山	-	銚頭	先端部	(75)	(16)	(11)	シカ	角	未成品の可能性あり。
197	余山	-	鈎針素材	-	(62)	(14)	(10)	シカ	角	縦截。やや板状。
198	余山	1079	非加工	-	-	-	-	シカ	角	鹿角先端。
199	余山	-	鈎針素材	-	(65)	(18)	(13)	シカ	角	縦半截。横位の切断痕も。粗割状態か。
200	余山	-	鈎針素材	-	(65)	(17)	(11)	シカ	角	縦截。やや板状。小型の鈎針か。
201	余山	-	鈎針素材	-	(69)	(20)	(12)	シカ	角	縦截。やや板状。小型の鈎針か。
202	余山	-	鈎針素材	-	(59)	(19)	(11)	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。端部にある斜めの削りは意図的なものか？
203	余山	-	鈎針素材	-	(61)	(25)	(13)	シカ	角	縦截。やや板状。
204	余山	-	鈎針素材	-	(65)	(34)	(11)	シカ	角	台形の板状素材。素材内に形状取りがうかがえる段階。
205	余山	-	鈎針素材か	-	(58)	(29)	(10)	シカ	角	縦截。板状。粗割状態か。
206	余山	-	鈎針素材	-	(51)	(29)	(10)	シカ	角	台形の板状素材。素材内に形状取りがうかがえる段階。
207	余山	-	加工痕のある鹿角	-	(34)	(22)	(15)	シカ	角	
208	余山	-	鈎針素材	-	(66)	(19)	(12)	シカ	角	縦截。やや板状。
209	余山	-	鈎針素材	-	(69)	(19)	(10)	シカ	角	縦截。やや板状。
210	余山	-	鈎針素材	-	(71)	(21)	(16)	シカ	角	縦截。
211	余山	-	鈎針素材	-	(78)	(20)	(14)	シカ	角	縦截。
212	余山	-	切断痕のある鹿角片	-	(97)	(19)	(10)	シカ	角	縦截。やや板状。
213	余山	-	鈎針素材	-	(102)	(22)	(9)	シカ	角	縦截。やや板状。2片に破損。
214	余山	-	鈎針未成品	軸部～湾曲部	(52)	(18)	(9)	シカ	角	
215	余山	-	鈎針未成品	軸部～湾曲部	(60)	(17)	(7)	シカ	角	
216	余山	-	鈎針	逆刺部	(37)	(20)	-	シカ	角	
217	余山	-	鈎針	逆刺部	(40)	(16)	-	シカ	角	
218	余山	-	鈎針	軸部～逆刺部	(36)	(24)	(6)	シカ	角	
219	余山	-	鈎針	軸部～逆刺部	(40)	(13)	(6)	シカ	角	
220	余山	-	鈎針	軸部～逆刺部	(30)	(19)	(4)	シカ	角	
221	余山	-	鈎針	湾曲部	(28)	(11)	(7)	シカ	角	
222	余山	-	鈎針	湾曲部	(38)	(13)	(7)	シカ	角	
223	余山	-	鈎針	軸部～湾曲部	(40)	(15)	(6)	シカ	角	
224	余山	-	鈎針	軸部～湾曲部	(32)	(14)	(6)	シカ	角	
225	余山	-	鈎針	軸部～湾曲部	(26)	(9)	(4)	シカ	角	
226	余山	-	鈎針	軸部～湾曲部	(37)	(10)	(6)	シカ	角	
227	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(60)	(6)	(6)	シカ	角	基部を吸口状に加工。
228	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(47)	(5)	(5)	シカ	角	基部を吸口状に加工。
229	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(39)	(6)	(6)	シカ	角	基部を吸口状に加工。
230	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(34)	(6)	(6)	シカ	角	基部を吸口状に加工。
231	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(30)	(4)	(5)	シカ	角	基部を吸口状に加工。
232	余山	-	鈎針素材	-	(78)	(16)	(6)	シカ	角	縦截。やや板状。粗割状態か。
233	余山	-	鈎針素材	-	(98)	(18)	(11)	シカ	角	縦截。やや板状。
234	余山	-	切断痕のある鹿角片	幹部	(95)	(38)	(19)	シカ	角	縦截された残片か。別素材を切除した痕跡も。
235	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(105)	(61)	(23)	シカ	角	別素材を切除した痕跡。
236	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(113)	(63)	(22)	シカ	角	別素材を切除した痕跡。
237	余山	-	鑑か	完形か	25	10	7	シカ	角	
238	余山	-	銚頭	完形	73	12	7	シカ	角	

第1部 調査報告

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
239	余山	-	ヤス	基部	(69)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
240	余山	-	ヤス	完形	70	11	6	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
241	余山	-	ヤス	先端部	(84)	(9)	(8)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	再加工。
242	余山	-	ヤス	先端部	(79)	(9)	(8)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
243	余山	-	ヤス	基部	(75)	(8)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
244	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	中手／中足骨骨幹	
245	余山	-	ヤス	先端部	(94)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
246	余山	-	非加工	-	-	-	-	哺乳類 (同定不可)	四肢骨 (骨幹)	イス?
247	余山	-	ヤス	基部	(90)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
248	余山	-	ヤス	基部	(81)	(11)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
249	余山	1054	ヤス	完形	78	8	6	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工か。
250	余山	-	ヤス	先端部	(93)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
251	余山	-	ヤス	基部	(84)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
252	余山	1054	ヤス	完形	80	13	9	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
253	余山	1054	ヤス	完形	85	9	9	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。(縦書きで)「40 一号」。
254	余山	1054	ヤス	基部	(70)	(7)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工か。
255	余山	-	ヤス	完形	90	10	8	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
256	余山	-	ヤス	基部	(39)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
257	余山	-	ヤス	完形	76	10	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
258	余山	-	ヤス	先端部	(82)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
259	余山	-	針	先端部	(72)	(5)	(5)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
260	余山	-	ヤス	基部	(94)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
261	余山	-	ヤス	基部	(101)	(14)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
262	余山	1054	ヤス	完形	94	10	8	シカ?	中手／中足骨骨幹?	未成品か。
263	余山	1054	ヤス	完形	93	10	7	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
264	余山	-	ヤス	基部	(96)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
265	余山	-	ヤス	完形	93	10	6	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
266	余山	1054	ヤス	完形	93	9	6	シカ	中手／中足骨骨端	
267	余山	1054	ヤス	完形	105	10	5	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
268	余山	-	ヤス	完形	106	10	8	シカ	中手／中足骨骨端	
269	余山	1054	ヤス	完形	106	12	6	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
270	余山	1054	ヤス	完形	125	11	8	シカ	中手／中足骨骨端	
271	余山	1062	加工痕のある骨片	-	(113)	(19)	(6)	シカ／イノシシ	四肢骨骨幹	
272	余山	1057	非加工	-	-	-	-	エイ類	尾棘	
273	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部～頭骨	(157)	-	-	シカ	左前頭骨＋角	
274	余山	-	切断痕のある鹿角	角座～頭骨	(154)	-	-	シカ	左前頭骨＋角	
275	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(93)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
276	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(182)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
277	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(99)	-	-	シカ	角	横位の擦り切り痕 (未切除)。
278	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	角	奇形鹿角
279	余山	1080	切断痕のある鹿角	先端部	(109)	(54)	(21)	シカ	角	幹からの切り離しに際して付いたと思われる横位の擦痕と、敲打痕が残る。
280	余山	1081	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
281	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
282	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(59)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
283	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(58)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
284	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(80)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
285	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(84)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
286	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(72)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
287	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(59)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
288	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(90)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
289	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(113)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
290	余山	-	切断痕のある鹿角	角座	(67)	-	-	シカ	角 (角座、落角)	
291	余山	-	ヤス	先端部	(76)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
292	余山	-	ヤス	基部	(96)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
293	余山	-	ヤス	基部	(80)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
294	余山	-	ヤス	基部	(62)	(14)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
295	余山	-	ヤス	先端部	(93)	(12)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
296	余山	-	ヤス	基部	(91)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
297	余山	-	ヤス	完形	80	12	8	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
298	余山	-	ヤス	基部	(74)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
299	余山	-	ヤス	基部	(79)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	注記は「余山採掘」。
300	余山	-	ヤス	基部	(70)	(10)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
301	余山	-	ヤス	基部	(63)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
302	余山	-	ヤス	先端部	(80)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
303	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ	四肢骨骨幹	
304	余山	-	ヤス	基部	(87)	(12)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
305	余山	-	ヤス	基部	(73)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
306	余山	-	ヤス	基部	(76)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
307	余山	-	ヤス	完形	59	11	6	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
308	余山	-	ヤス未成品	中間部	(94)	(13)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
309	余山	-	ヤス	基部	(104)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
310	余山	-	ヤス	基部	(107)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
311	余山	-	ヤス	基部	(90)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
312	余山	-	ヤス	中間部	(113)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
313	余山	-	ヤス	基部	(100)	(14)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
314	余山	-	ヤス	基部	(96)	(11)	(11)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
315	余山	-	ヤス	基部	(95)	(10)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
316	余山	-	ヤス	基部	(110)	(12)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
317	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ	四肢骨骨幹	
318	余山	-	ヤス	基部	(90)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
319	余山	-	ヤス	完形	75	13	7	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
320	余山	-	ヤス	先端部	(84)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	

標本番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
321	余山	-	ヤス	基部	(71)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
322	余山	-	ヤス		(66)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
323	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	担鰭骨?	真骨類・同定不可。大型魚(マダイの可能性あり)。
324	余山	-	ヤス	基部	(84)	(12)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
325	余山	-	ヤス	基部	(82)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
326	余山	-	加工痕のある鹿角	-	(71)	-	-	シカ	角	
327	余山	-	ヤス	完形	88	10	10	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
328	余山	-	ヤス	基部	(80)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
329	余山	-	ヤス	完形	59	10	6	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
330	余山	-	ヤス	中間部	(38)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
331	余山	-	ヤス	先端部	(73)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
332	余山	-	ヤス	先端部	(81)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
333	余山	-	ヤス	先端部	(78)	(12)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
334	余山	-	ヤス	基部	(87)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
335	余山	-	ヤス	基部	(110)	(15)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
336	余山	-	ヤス	中間部	(115)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
337	余山	-	ヤス	基部	(90)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
338	余山	-	ヤス	基部	(98)	(90)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
339	余山	-	ヤス	基部	(113)	(10)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
340	余山	-	ヤス	基部	(94)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
341	余山	-	ヤス	先端部	(106)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	(縦書きで)「41 三号」
342	余山	-	ヤス	基部	(94)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
343	余山	-	ヤス	基部	(98)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
344	余山	-	ヤス素材	中間部	(96)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
345	余山	-	ヤス	中間部	(105)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
346	余山	-	ヤス未成品	中間部	(104)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
347	余山	-	ヤス	基部	(104)	(7)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱。
348	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	中足骨骨幹(後面破片)	素材か。
349	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	中手／中足骨骨幹	
350	余山	-	切断痕のある鹿角	先端部	(70)	(13)	-	シカ	角	
351	余山	-	ヤス未成品	先端部	(67)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	棒状に縦載。
352	余山	-	ヤス未成品		-	-	-	シカ	中手／中足骨骨幹	棒状に縦載。
353	余山	-	ヤス	基部	(70)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
354	余山	-	ヤス	中間部	(76)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
355	余山	-	ヤス	基部	(73)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
356	余山	-	ヤス	基部	(78)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
357	余山	1054	ヤス	完形	49	9	6	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
358	余山	-	ヤス	基部	(67)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
359	余山	-	不明	-	-	-	-	シカ／イノシシ?	不明	棒状で一端がわずかに湾曲。
360	余山	-	鋸頭	基部	(42)	(14)	(11)	シカ	角	
361	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(58)	(13)	(13)	シカ	角	
362	-	-	※		-	-	-			(欠番)
363	-	-	※		-	-	-			(欠番)
364	-	-	※		-	-	-			(欠番)
365	余山	1079	切断痕のある鹿角	先端部	(52)	(13)	(12)	シカ	角	
366	余山	-	鋸頭	基部	(44)	(18)	(12)	シカ	角	
367	余山	-	鋸頭	基部	(42)	(13)	(11)	シカ	角	
368	余山	-	釣針素材	不明	(56)	(27)	(8)	シカ	角	台形の板状素材。
369	余山	-	釣針素材	枝部	(64)	(32)	(10)	シカ	角	台形の板状素材。
370	余山	-	棒状製品	中間部	(62)	(7)	(7)	シカ?	角?	
371	余山	-	釣針	基部	(53)	(5)	(6)	シカ	角	基部を吸口状に加工。
372	余山	-	釣針	基部～中間部	(59)	(6)	(5)	シカ	角	
373	余山	1067	非加工	-	-	-	-	鳥類	四肢骨骨幹	
374	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	中手骨骨幹(前面破片)	
375	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(70)	(15)	(9)	シカ	角	
376	余山	1083	釣針未成品	軸部	(57)	(10)	(7)	シカ	角	
377	余山	-	釣針素材	幹部	(81)	(18)	(7)	シカ	角	
378	余山	-	切断痕のある鹿角	幹部	(121)	(20)	(8)	シカ	角	板状。やや湾曲。
379	余山	-	非加工	-	-	-	-	ヒト	四肢骨骨幹	
380	余山	-	ヤス	基部	(131)	(12)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
381	※余山	-	ヤス	中間部か	(19)	(8)	(4)	シカ／イノシシ?	不明	※「余」の笠部のみ残存。被熱により黒化。
382	余山	-	ヤス	基部	(49)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
383	余山	-	ヤス	基部	(39)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
384	余山	-	ヤス	中間部	(72)	(8)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
385	余山	-	ヤス	基部	(53)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
386	余山	-	ヤス	基部	(57)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
387	余山	-	ヤス	基部	(57)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
388	余山	-	ヤス	中間部	(53)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工か。
389	余山	-	ヤス	先端部	(73)	(6)	(4)	シカ	中手／中足骨骨端	被熱により湾曲・白化。
390	余山	-	ヤス	先端部	(55)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
391	余山	-	ヤス	中間部	(81)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
392	余山	-	ヤス	中間部	(69)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
393	余山	-	ヤス	中間部	(67)	(10)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
394	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?被熱。
395	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?
396	余山	-	ヤス	基部	(55)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
397	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?
398	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?
399	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?
400	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?
401	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ?

第 1 部 調査報告

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
402	-	-	ヤス	先端部か	(73)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
403	-	-	ヤス	中間部	(84)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
404	余山	-	ヤス	基部	(37)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
405	余山	-	ヤス	基部	(71)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工か。
406	余山	-	ヤス	中間部	(70)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
407	余山	-	ヤス	先端部	(62)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
408	余山	-	ヤス	中間部	(73)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
409	余山	-	ヤス	基部	(88)	(11)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
410	余山	-	ヤス	ほぼ完形	98	7	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工か。
411	-	-	ヤス	先端部	(62)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
412	余山	-	ヤス	基部	(79)	(11)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
413	余山	-	ヤス未成品	中間部	(90)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
414	余山	-	ヤス	基部	(61)	(9)	(13)	シカ	中手／中足骨骨幹	
415	余山	-	ヤス	基部	(76)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
416	余山	-	ヤス	基部	(74)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
417	余山	-	ヤス	基部か	(50)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
418	余山	-	ヤスカ	-	(57)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
419	余山	-	ヤス	先端部	(63)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
420	余山	-	ヤス	基部	(47)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
421	余山	-	ヤス未成品	中間部か	(77)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
422	余山	-	ヤス	基部	(56)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
423	-	-	ヤス	基部	(42)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
424	余山	-	鈎針	軸部	(37)	(8)	(6)	シカ？	角？	
425	余山	1054	ヤス	完形	66	7	7	シカ？	中手／中足骨骨端？	再加工。(縦書きで)「4 0 十七号」。
426	余山	-	ヤス	先端部	(61)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
427	余山	-	棒状製品	基部	(41)	(9)	(8)	シカ？	角？	針か。
428	余山	-	ヤス	先端部	(61)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
429	余山	-	ヤス	基部	(57)	(7)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
430	余山	-	ヤス	基部	(65)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
431	余山	-	ヤスカ	中間部	(57)	(7)	(6)	シカ？	中手／中足骨骨端？	
432	余山	-	棒状刺突具	先端部	(47)	(6)	(6)	シカ？	角？	針か。
433	余山	-	ヤス	基部	(59)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
434	余山	-	ヤス	基部	(37)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
435	余山	-	ヤス	基部	(72)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
436	余山	-	ヤス未成品	中間部	(79)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
437	余山	-	ヤス	基部	(39)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
438	余山	-	ヤス	中間部	(52)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
439	余山	-	ヤス (または鋸頭)	基部	(33)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
440	余山	-	ヤス	中間部	(73)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
441	余山	-	ヤス未成品	中間部	(71)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
442	余山	-	ヤス	基部	(59)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
443	余山	-	ヤス	基部	(61)	(10)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
444	余山	-	ヤス未成品	中間部	(73)	(13)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
445	余山	-	ヤス	基部	(63)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
446	余山	-	ヤス	中間部	(50)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
447	余山	-	ヤス	中間部	(72)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
448	余山	-	ヤス	中間部	(65)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
449	余山	-	ヤス	基部	(64)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
450	余山	-	ヤス	先端部	(56)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
451	余山	-	ヤス	中間部	(59)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
452	余山	-	ヤス未成品	中間部	(37)	(10)	(6)	シカ	角	
453	余山	-	ヤス	先端部	(65)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
454	余山	-	ヤス	基部	(47)	(13)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
455	余山	-	ヤス未成品	基部	(66)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
456	余山	1083	鈎針未成品	軸部	(83)	(10)	(6)	シカ	角	
457	余山	-	ヤス	先端部	(74)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
458	余山	-	ヤス	基部	(61)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
459	余山	-	ヤス	中間部	(73)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
460	余山	-	ヤス	中間部	(77)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
461	余山	-	ヤス	基部	(45)	(14)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
462	余山	-	ヤス	基部	(67)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
463	余山	-	ヤス	基部	(72)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
464	余山	-	ヤス	中間部	(67)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
465	余山	-	ヤス	基部	(57)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
466	余山	-	ヤス	基部	(72)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
467	余山	-	ヤス	基部	(74)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
468	余山	-	ヤス	先端部	(83)	(8)	(10)	シカ	中手／中足骨骨幹	
469	余山	-	ヤス	中間部	(72)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
470	余山	-	ヤス	基部	(68)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
471	余山	-	ヤス	基部	(47)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
472	余山	-	棒状刺突具	基部	(56)	(14)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
473	余山	-	ヤス	基部	(57)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
474	余山	-	ヤス	基部	(52)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
475	余山	-	ヤス	中間部	(52)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
476	余山	-	ヤス	基部	(43)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
477	余山	105X	ヤス	完形	75	12	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
478	余山	-	ヤス	基部	(95)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
479	余山	-	ヤス	基部	(78)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
480	余山	-	ヤス	基部	(80)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
481	-	-	ヤス	中間部	(45)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
482	余山	-	ヤス	基部	(60)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
483	余山	-	ヤス	基部	(74)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
484	余山	-	ヤス	基部	(82)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
485	余山	-	ヤス	中間部	(74)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
486	余山	-	ヤス	中間部	(60)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
487	余	-	ヤス	基部	(72)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
488	余山	-	ヤス	基部	(77)	(8)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
489	余山	-	ヤス	基部	(49)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
490	余山	-	ヤス	基部	(68)	(13)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
491	余山	-	ヤス	中間部	(52)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
492	余山	-	ヤス	基部	(60)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。
493	余山	-	ヤス	先端部	(58)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
494	余山	-	ヤス	基部	(56)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
495	余山	-	ヤス	先端部	(58)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
496	余山	-	非加工	-	-	-	-	スズキ	歯骨後端	
497	余山	-	ヤス	基部	(48)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
498	余山	-	ヤス	基部	(48)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
499	余山	-	ヤス未成品	中間部	(52)	(11)	(7)	シカ	角	
500	余山	-	ヤス	基部	(43)	(10)	(7)	シカ?	中手／中足骨骨端?	
501	余山	-	ヤス	基部	(63)	(8)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
502	余山	-	ヤス未成品	中間部	(36)	(10)	(4)	シカ?	中手／中足骨骨端?	
503	余山	-	ヤス	基部	(37)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
504	ヨ山	-	ヤス	基部	(34)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
505	余山	-	ヤス	基部	(68)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
506	余山	-	ヤス	基部	(69)	(9)	(7)	シカ?	中手／中足骨骨端?	
507	余山	-	ヤス	基部	(44)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
508	余山	-	ヤス	完形	59	9	7	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
509	余山	-	ヤス	中間部	(42)	(6)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
510	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ?	四肢骨骨幹	
511	余山	-	ヤス	中間部	(43)	(8)	(5)	シカ／イノシシ?	不明	
512	余山	-	ヤス	中間部	(41)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
513	余山	-	ヤス未成品	中間部	(93)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
514	余山	-	ヤス	中間部	(92)	(13)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
515	余山	-	釣針	軸部	(85)	(7)	(7)	シカ	角	やや大型。
516	余山	-	針	中間部	(61)	(7)	(7)	シカ?	角?	
517	余山	-	針	先端部	(38)	(5)	(4)	シカ	角	
518	余山	-	針	中間部	(56)	(6)	(6)	シカ	角	
519	余山	-	針 (または釣針軸部)	中間部	(36)	(7)	(6)	シカ	角	
520	余山	-	針 (または釣針軸部)	中間部	(37)	(6)	(5)	シカ	角	
521	余山	-	針 (または釣針軸部)	中間部	(33)	(7)	(6)	シカ	角	
522	余山	-	針 (または釣針軸部)	中間部	(32)	(5)	(5)	シカ	角	
523	余山	-	ヤス	中間部	(81)	(12)	(11)	シカ	中手／中足骨骨幹	
524	余山	-	ヤス	中間部	(50)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
525	余山	-	ヤス	完形	55	10	8	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
526	余山	-	ヤス	基部	(55)	(11)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
527	余山	-	ヤス	中間部	(50)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
528	余山	-	ヤス	基部	(66)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
529	余山	-	ヤス	中間部	(59)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
530	余山	-	ヤス	基部	(37)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
531	余山	-	ヤス	基部	(56)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
532	余山	-	ヤス	基部	(38)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
533	余山	-	ヤス	中間部	(53)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
534	余山	-	ヤス	基部	(51)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
535	余山	-	ヤス	先端部	(67)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
536	余山	-	ヤス	基部	(54)	(12)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
537	余山	-	ヤス	基部か	(62)	(9)	(5)	シカ／イノシシ?	四肢骨骨幹	
538	余山	-	ヤス	先端部	(59)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
539	余山	-	ヤス	基部	(46)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
540	余山	-	ヤス	基部	(59)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
541	余山	-	ヤス	中間部	(52)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
542	余山	-	ヤス未成品	中間部	(49)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
543	余山	-	ヤス	先端部	(36)	(7)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
544	余山	-	ヤス	基部	(55)	(7)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
545	余山	-	ヤス	中間部	(51)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
546	余山	-	ヤス	先端部	(56)	(8)	(10)	シカ	中手／中足骨骨幹	
547	余山	-	ヤス	基部	(40)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
548	余山	-	ヤス	基部	(41)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
549	余山	-	ヤス	基部	(51)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。
550	余山	-	ヤス	先端部	(50)	(8)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
551	余山	-	ヤス	中間部	(67)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
552	余山	-	ヤス	中間部	(46)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
553	余山	-	ヤス	基部	(46)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
554	余山	-	ヤス	基部	(69)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
555	余山	1054	ヤス	基部	(56)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
556	余山	-	ヤス	基部	(58)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。
557	余山	-	ヤス	基部	(58)	(7)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
558	余山	-	ヤス	基部	(60)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
559	余山	-	ヤス	中間部	(52)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
560	余山	-	ヤス	基部	(60)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
561	余山	-	ヤス	中間部	(60)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
562	余山	-	ヤス	先端部	(34)	(7)	(6)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
563	余山	-	ヤス未成品	中間部	(39)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
564	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	棘	真骨類・同定不可。マグロ? 被熱。
565	余山	-	ヤス	中間部	(39)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	

第1部 調査報告

標本番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
566	余山	-	ヤス未成品	中間部	(41)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
567	余山	-	ヤス	中間部	(59)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
568	余山	-	ヤス	中間部	(35)	(7)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
569	余山	-	鈎針未成品	軸部	(40)	(8)	(7)	シカ	角	
570	余山	-	ヤス	基部	(31)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	被熱により黒化。
571	余山	-	ヤス	中間部	(40)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	(縦書きで)「40」か。
572	余山	-	ヤス	中間部	(50)	(11)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
573	余山	-	鈎針未成品	軸部	(38)	(10)	(7)	シカ	角	再加工。
574	余山	-	ヤス	中間部	(56)	(9)	(8)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
575	余山	-	ヤス	中間部	(56)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
576	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ?	四肢骨骨幹	
577	余山	-	ヤス	基部	(48)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
578	余山	-	ヤス	基部	(57)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
579	余山	-	ヤス	基部	(68)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
580	余山	-	ヤス	基部	(77)	(10)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
581	余山	-	鈎針未成品	軸部	(31)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
582	余山	-	ヤス	基部	(61)	(10)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
583	余山	-	ヤス	基部	(52)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
584	余山	-	ヤス	基部	(49)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
585	余山	-	ヤス	基部	(45)	(10)	(6)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
586	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ?	四肢骨骨幹	
587	余山	-	ヤス	中間部	(67)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
588	余山	-	ヤス	中間部	(51)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
589	余山	-	ヤス	基部	(70)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。
590	余山	-	ヤス	先端部	(34)	(8)	(5)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
591	余山	-	ヤス	中間部	(60)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
592	余山	-	ヤス	基部	(49)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
593	余山	-	ヤス	中間部	(52)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
594	余山	-	ヤス	基部	(51)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
595	余山	-	ヤス	基部	(35)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
596	余山	-	針	先端部	(43)	(8)	(8)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
597	余山	-	ヤス	基部	(43)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
598	※	-	ヤス	基部	(40)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	※注記が半分剥離しているが、「余山」とみなす。
599	余山	-	ヤス	基部	(65)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
600	余山	-	ヤス	基部	(56)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
601	余山	-	ヤス	基部	(45)	(8)	(4)	シカ	角	
602	余山	-	ヤス	基部	(34)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
603	余山	-	ヤス	先端部	(48)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
604	余山	-	ヤス未成品	基部	(57)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
605	余山	-	鋸頭	基部	(42)	(16)	(9)	シカ	角	
606	余山	-	ヤス	先端部	(60)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
607	余山	-	ヤス	基部	(53)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
608	余山	-	ヤス	先端部	(55)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
609	余山	-	ヤス	中間部	(68)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
610	余山	-	ヤス	基部	(47)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
611	余山	-	鈎針	軸頂部	(39)	(6)	(5)	シカ	角	
612	余山	-	ヤス	基部	(65)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
613	余山	-	ヤス未成品	中間部	(60)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
614	余山	-	ヤス	中間部	(31)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
615	余山	-	鈎針	軸部	(28)	(6)	(5)	シカ	角	
616	余山	-	棒状製品	中間部	(41)	(6)	(5)	シカ?	中手／中足骨骨端?	鈎針軸部または針か。
617	余山	-	ヤス	中間部	(66)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
618	余山	-	鈎針	軸部	(40)	(6)	(6)	シカ	角	
619	余山	-	ヤス	基部	(71)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
620	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	担鰭骨?	真骨類・同定不可。大型魚(マダイの可能性あり)。
621	余山	-	ヤス	先端部	(72)	(7)	(6)	シカ／イノシシ?	四肢骨骨幹	シカ中手／中足骨またはイノシシ腓骨?
622	余山	-	ヤス	先端部	(86)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
623	余山	-	ヤス	先端部	(40)	(7)	(4)	シカ?	中手／中足骨骨幹?	
624	余山	-	針	先端部	(57)	(9)	(9)	シカ	角	断面円形。
625	余山	-	ヤス	基部	(58)	(11)	(8)	シカ	角	
626	余山	-	ヤス	基部	(38)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
627	余山	-	ヤス	基部	(69)	(13)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
628	余山	-	ヤス	基部	(57)	(10)	(13)	シカ	中手／中足骨骨端	
629	余山	-	ヤス	基部	(42)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
630	余山	-	ヤス	先端部	(64)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
631	余山	-	ヤス	基部	(44)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
632	余山	-	ヤス	基部	(33)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
633	余山	-	ヤス	中間部	(62)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
634	余山	-	ヤス	中間部	(58)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
635	余山	-	ヤス	中間部	(63)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
636	余山	-	ヤス	中間部	(65)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
637	余山	-	ヤス	中間部	(42)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
638	余山	-	ヤス	中間部	(62)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
639	余山	-	ヤス	中間部	(54)	(7)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
640	余山	-	ヤス	基部	(48)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
641	余山	-	ヤス	中間部	(32)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
642	余山	1083	鈎針未成品	軸部	(37)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
643	余山	-	ヤス	基部	(30)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
644	余山	-	ヤス	中間部	(32)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
645	余山	-	ヤス	中間部	(32)	(7)	(5)	シカ／イノシシ?	不明	
646	余山	-	非加工	-	-	-	-	小型哺乳類	肋骨破片	
647	余山	-	非加工	-	-	-	-	ウミガメ	指骨骨幹	

標本番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
648	ヨ山	-	針	先端部	(43)	(4)	(3)	哺乳類	不明	
649	余山	-	釣針	軸部	(52)	(6)	(6)	シカ	角	
650	余山	-	釣針	軸部	(27)	(7)	(7)	シカ	角	
651	余山	-	釣針	軸部	(42)	(6)	(5)	シカ?	角?	
652	余山	-	釣針	軸部	(31)	(5)	(6)	シカ/イノシシ?	不明	イノシシ腓骨?
653	余山	-	釣針	軸部	(38)	(6)	(6)	シカ	角	
654	余山	-	釣針	軸部	(41)	(5)	(5)	シカ?	角?	
655	余山	-	針	先端部	(51)	(6)	(5)	シカ/イノシシ?	不明	
656	余山	-	釣針	軸部	(19)	(6)	(6)	シカ/イノシシ?	不明	
657	余山	-	釣針	軸部	(26)	(6)	(5)	シカ?	角?	
658	余山	-	釣針	軸部	(36)	(5)	(4)	シカ	角	
659	余山	-	針	先端部	(45)	(5)	(4)	シカ/イノシシ?	不明	
660	余山	-	針	先端部か	(23)	(6)	(5)	シカ/イノシシ?	不明	
661	余山	-	釣針	軸頂部	(23)	(5)	(6)	シカ	角	軸頂部を吸口状に加工
662	余山	-	釣針	軸部	(32)	(6)	(6)	シカ	角	
663	余山	-	釣針	軸部	(32)	(5)	(6)	シカ	角	
664	余山	-	釣針	軸部	(33)	(5)	(6)	シカ?	角?	
665	余山	-	釣針	軸部～湾曲部	(41)	(10)	(6)	シカ	角	
666	余山	-	釣針	軸部～湾曲部	(28)	(10)	(5)	シカ	角	
667	余山	-	ヤス	中間部	(104)	(11)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	
668	余山	-	ヤス	中間部	(88)	(10)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
669	余山	-	ヤス	基部	(98)	(12)	(8)	シカ	中手/中足骨幹端	
670	余山	-	ヤス	基部	(82)	(9)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	
671	余山	-	ヤス	基部	(79)	(11)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
672	余山	-	ヤス	基部	(85)	(12)	(9)	シカ	中手/中足骨幹端	
673	余山	-	ヤス	基部	(71)	(11)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
674	余山	-	ヤス	基部	(61)	(13)	(8)	シカ	中手/中足骨幹端	
675	余山	-	棒状製品	基部	(60)	(11)	(8)	シカ	角	針か。
676	余山	-	ヤス未成品	中間部	(64)	(11)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
677	余山	-	ヤス	基部	(58)	(9)	(5)	シカ	中手/中足骨幹端	
678	余山	-	ヤス	先端部	(59)	(6)	(5)	シカ	中手/中足骨幹	
679	余山	-	鋸頭	基部	(57)	(15)	(8)	シカ	角	被熱により炭化。
680	余山	-	ヤス	先端部	(53)	(9)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	
681	余山	-	ヤス	先端部	(42)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
682	余山	-	ヤス	先端部	(55)	(12)	(8)	シカ	中手/中足骨幹	再加工。
683	余山	-	ヤス	先端部	(72)	(8)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
684	余山	-	ヤス	基部	(41)	(11)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	
685	余山	-	ヤス	基部	(40)	(10)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	
686	余山	-	ヤス	基部	(51)	(8)	(5)	シカ	中手/中足骨幹	
687	余山	-	ヤス	中間部	(54)	(8)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	
688	余山	-	鋸頭	基部	(45)	(15)	(9)	シカ	角	
689	余山	-	ヤス	基部	(41)	(10)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
690	余山	-	ヤス	基部	(53)	(11)	(8)	シカ	中手/中足骨幹端	
691	-	-	ヤス	先端部	(45)	(8)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	
692	余山	-	ヤス	先端部	(42)	(8)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	
693	余山	-	ヤス	基部	(31)	(10)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	
694	余山	-	ヤス	基部	(48)	(10)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
695	余山	-	ヤス	先端部	(53)	(6)	(4)	シカ	中手/中足骨幹	
696	余山	-	ヤス	基部	(49)	(10)	(9)	シカ	中手/中足骨幹端	
697	余山	-	ヤス	基部	(43)	(12)	(8)	シカ	中手/中足骨幹端	
698	余山	-	ヤス	基部	(45)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
699	余山	-	ヤス	基部	(43)	(10)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
700	余山	-	ヤス	基部	(23)	(9)	(5)	シカ	中手/中足骨幹端	
701	余山	-	鋸頭	基部	(32)	(12)	(10)	シカ	角	太型のヤスの可能性もあり。
702	余山	-	鋸頭か	身	(54)	(12)	(8)	シカ	角	ヤスの可能性もあり。
703	余山	-	ヤス	基部	(38)	(8)	(5)	シカ	中手/中足骨幹端	
704	余山	-	ヤス	基部	(48)	(8)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	
705	余山	-	不明(鋸頭か)	先端部	(23)	(9)	(8)	シカ	角	加工なし?
706	余山	-	ヤス	基部	(32)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
707	余山	-	ヤス	基部	(34)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
708	余山	-	鋸頭	基部	(35)	(10)	(9)	シカ	角	太型のヤスの可能性もあり。
709	余山	-	ヤス	基部	(47)	(9)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	
710	余山	-	ヤス未成品か	中間部	(47)	(9)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	風化顕著。
711	余山	-	ヤス	中間部	(61)	(11)	(8)	シカ	中手/中足骨幹	
712	余山	-	ヤス	中間部	(50)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
713	余山	-	ヤス	基部	(44)	(9)	(8)	シカ	中手/中足骨幹端	
714	余山	-	ヤス	基部	(53)	(10)	(6)	シカ	中手/中足骨幹端	未成品か。
715	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	腓骨幹	
716	余山	-	ヤス	基部	(29)	(8)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
717	余山	-	ヤス	基部	(52)	(10)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
718	余山	-	加工痕のある鹿角片	-	(43)	(10)	(6)	シカ	角	釣針未成品(軸部)か。
719	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	中手/中足骨幹	
720	余山	-	ヤス	基部	(37)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
721	余山	-	ヤス	先端部	(46)	(8)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
722	余山	-	ヤス未成品	中間部	(42)	(11)	(5)	シカ	中手/中足骨幹	
723	ヨ山	-	ヤス	中間部	(45)	(8)	(6)	シカ	中手/中足骨幹	
724	余山	-	ヤス	中間部	(51)	(8)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	
725	余山	-	ヤス	中間部	(43)	(10)	(5)	シカ	中手/中足骨幹	
726	余山	-	ヤス	中間部	(61)	(9)	(7)	シカ	中手/中足骨幹端	
727	余山	-	針か	基部	(49)	(6)	(5)	シカ/イノシシ?	不明	695と同一個体か?
728	余山	-	ヤス	中間部	(71)	(9)	(4)	シカ	中手/中足骨幹	未成品か。
729	余山	-	ヤス	中間部	(51)	(10)	(7)	シカ	中手/中足骨幹	

第1部 調査報告

標本番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
730	余山	-	ヤス	中間部	(37)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
731	余山	-	ヤス	中間部	(28)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
732	余山	-	ヤス	基部	(42)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
733	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	右腓骨骨幹	
734	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ？	不明	イノシシ腓骨骨幹の可能性あり
735	余山	-	ヤス	基部	(25)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
736	余山	-	ヤスカ	中間部	(19)	(6)	(4)	シカ／イノシシ？	不明	
737	余山	-	ヤス	基部	(43)	(8)	(6)	シカ？	中手／中足骨骨幹？	
738	余山	-	針か	中間部	(61)	(8)	(7)	シカ？	中手／中足骨骨幹？	断面円形。シカ角の可能性あり。
739	余山	-	鈎針	軸部	(45)	(6)	(7)	シカ？	角？	
740	余山	-	鈎針	軸部	(41)	(5)	(6)	シカ	角	
741	余山	-	鈎針	軸部	(43)	(5)	(7)	シカ	角	
742	余山	-	ヤス	基部	(34)	(6)	(5)	シカ／イノシシ？	不明	針の可能性も残る。726と同一個体か？
743	余山	-	針	先端部	(32)	(7)	(6)	シカ	角	ヤスの可能性も残る。
744	余山	-	針	先端部	(35)	(5)	(3)	シカ？	角？	ヤスの可能性も残る。
745	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	右腓骨骨幹	
746	余山	-	ヤス	中間部	(31)	(8)	(6)	シカ？	中手／中足骨骨幹？	
747	余山	-	鈎針	軸部	(30)	(6)	(6)	シカ	角	
748	余山	-	鈎針	軸部	(36)	(5)	(5)	シカ？	角？	
749	余山	-	針	先端部	(26)	(6)	(5)	シカ	角	
750	余山	-	鈎針	軸部	(25)	(5)	(6)	シカ	角	
751	余山	-	針	先端部	(50)	(5)	(4)	イノシシ？	腓骨骨幹？	695や742と似る。
752	余山	-	鈎針	軸頂部	(22)	(6)	(7)	シカ？	角？	
753	余山	-	鈎針	軸部	(34)	(5)	(5)	シカ？	角？	
754	余山	-	鈎針	軸部	(33)	(5)	(5)	シカ	角	
755	余山	-	針	先端部	(30)	(5)	(4)	シカ／イノシシ？	不明	695、742、751と似る。シカ中手／中足骨またはイノシシ腓骨？
756	余山	-	鈎針	軸部	(44)	(5)	(6)	シカ	角	
757	余山	-	鈎針	軸部	(32)	(5)	(5)	シカ	角	
758	余山	-	不明	不明	(23)	(6)	(4)	シカ	角	
759	余山	-	針か	基部	(43)	(7)	(5)	シカ	角	
760	-	1188	鈎針	軸部	(41)	(5)	(6)	シカ	角	
761	余山	-	針か	先端部	(36)	(7)	(6)	シカ	角	
762	余山	-	鈎針	軸部	(35)	(6)	(5)	シカ	角	
763	余山	-	鈎針	軸部	(22)	(5)	(5)	シカ	角	
764	余山	-	鈎針	軸部	(21)	(6)	(6)	シカ	角	
765	余山	-	鈎針	軸部	(19)	(5)	(6)	シカ	角	
766	余山	-	鈎針	軸頂部	(15)	(7)	(7)	シカ	角	
767	余山	-	鈎針	軸部	(22)	(6)	(6)	シカ	角	
768	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ／イノシシ？	不明	
769	余山	-	鈎針	軸部	(15)	(6)	(6)	シカ	角	
770	余山	1083	鈎針	軸部	(38)	(5)	(6)	シカ	角	未成品か。
771	余山	-	非加工	-	-	-	-	エイ類	尾棘	
772	余山	-	非加工	-	-	-	-	トビエイ科	歯	
773	余山	10XX	ヤス	基部	(111)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
774	余山	1054	ヤス	ほぼ完形	92	10	7	シカ	中手／中足骨骨幹	
775	余山	-	ヤス	完形	64	9	6	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
776	余山	-	ヤス	基部	(79)	(9)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
777	余山	-	ヤス	完形	52	9	7	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
778	余山	-	鈎針	軸頂部～軸部	(51)	(7)	(7)	シカ	角	
779	余山	-	ヤス素材	-	(132)	(13)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
780	余山	-	ヤス	基部	(96)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
781	余山	-	ヤス	基部	(88)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
782	余山	-	ヤス	先端部	(92)	(10)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
783	余山	-	ヤス未成品	中間部	(95)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
784	余山	-	ヤス	基部	(101)	(10)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。
785	余山	-	ヤス	基部	(85)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
786	余山	-	ヤス	基部	(86)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
787	余山	-	ヤス	基部	(84)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工か。
788	余山	-	ヤス	基部	(78)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
789	余山	-	ヤス	基部	(75)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
790	余山	-	ヤス	基部	(66)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
791	余山	-	ヤス	先端部	(69)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
792	余山	-	ヤス	先端部	(50)	(10)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
793	余山	-	ヤス	先端部	(60)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
794	余山	-	ヤス	基部	(53)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
795	余山	-	ヤス	基部	(31)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
796	余山	-	ヤス	基部	(66)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
797	余山	1056	簾（または尖頭器）	先端部	(34)	(12)	(3)	シカ？	角？	
798	余山	-	鈎針か	軸頂部か	(52)	(13)	(11)	シカ	角	未成品か。大型鈎針か。
799	余山	-	鈎針	軸頂部	(32)	(6)	(6)	シカ	角	
800	余山	-	鈎針素材	幹部	(73)	(28)	(8)	シカ	角	縦載。台形板状。
801	余山	-	鈎針素材	幹部	(75)	(21)	(7)	シカ	角	縦載。台形板状。
802	余山	-	切断痕のある鹿角	先端部	(64)	(15)	(14)	シカ	角	
803	余山	-	鈎針未成品か	軸頂部か	(30)	(11)	(11)	シカ	角	大型鈎針か。
804	余山	-	非加工	-	-	-	-	シカ	角	
805	余山	-	ヤス	基部	(53)	(11)	(10)	シカ	中手／中足骨骨幹	
806	余山	-	ヤス	先端部	(39)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
807	余山	-	ヤス	基部	(66)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
808	余山	-	ヤス素材	基部	(59)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
809	余山	-	ヤス	基部	(60)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
810	余山	-	ヤス	中間部	(74)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
811	余山	-	ヤス	基部	(73)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
812	余山	-	ヤス	先端部	(41)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
813	余山	-	ヤス	基部	(69)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
814	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	左腓骨骨幹	
815	余山	-	ヤス	先端部	(65)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
816	余山	-	ヤス	先端部	(62)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
817	余山	-	ヤス未成品	中間部	(67)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
818	余山	-	ヤス	基部	(62)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
819	余山	-	ヤス	基部	(53)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
820	余山	-	ヤス	基部	(44)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
821	余山	-	ヤス	中間部	(78)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
822	余山	-	ヤス	基部	(79)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
823	余山	-	ヤス	基部	(55)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
824	余山	-	ヤス	先端部	(58)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
825	余山	-	ヤス	先端部	(60)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
826	余山	-	ヤス	先端部	(50)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
827	余山	-	ヤス未成品	中間部	(62)	(12)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
828	余山	-	ヤス	基部	(57)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
829	余山	-	不明（ヤスカ）	先端部	(59)	(8)	(8)	シカ	角	再加工。
830	余山	-	ヤス未成品	中間部	(73)	(12)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
831	余山	-	ヤス未成品	中間部	(77)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
832	余山	-	ヤス	中間部	(51)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
833	余山	-	ヤス	中間部	(89)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
834	余山	-	ヤス	基部	(77)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
835	余山	-	ヤス	中間部	(63)	(7)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
836	余山	-	ヤス	基部	(52)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
837	余山	-	ヤス	中間部	(68)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	
838	余山	-	ヤス	中間部	(46)	(6)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
839	余山	-	ヤス	基部	(39)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
840	余山	-	ヤス	基部	(75)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
841	余山	-	不明（針か）	中間部～先端部	(61)	(7)	(7)	シカ	角	
842	余山	-	ヤス	中間部	(66)	(11)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
843	余山	-	ヤス	基部	(35)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
844	余山	-	ヤス	中間部	(29)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
845	余山	-	ヤス	基部	(43)	(8)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
846	余山	-	ヤス	先端部	(54)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
847	余山	-	ヤス	先端部	(49)	(10)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
848	余山	-	ヤス	中間部	(42)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
849	-	-	非加工	-	-	-	-	魚類	拒鰭骨？	真骨類・同定不可。大型魚（マダイの可能性あり）。
850	余山	-	ヤス	基部	(43)	(8)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	
851	余山	-	ヤス	基部	(58)	(10)	(10)	シカ	中手／中足骨骨幹	
852	余山	-	ヤス	中間部	(38)	(7)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
853	余山	-	鈎針か	軸部か	(28)	(8)	(7)	シカ？	角？	
854	余山	-	ヤス	基部	(75)	(10)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
855	余山	-	ヤス	基部	(53)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
856	余山	-	ヤス	基部	(74)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
857	余山	-	ヤス	基部	(63)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	風化。
858	余山	-	ヤス	中間部	(75)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
859	余山	-	ヤス	基部	(62)	(9)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
860	余山	-	ヤス	基部	(57)	(12)	(9)	シカ	中手／中足骨骨幹	風化。
861	余山	-	ヤス	先端部	(51)	(8)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
862	余山	-	ヤス	先端部	(52)	(11)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
863	余山	-	ヤス	先端部	(73)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
864	余山	-	ヤス	中間部	(36)	(7)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
865	余山	-	ヤス	基部	(43)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
866	余山	-	ヤス	基部	(51)	(11)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
867	余山	-	ヤス	基部	(34)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
868	余山	-	ヤス	中間部	(46)	(11)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
869	余山	-	ヤス	基部	(56)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	風化。未成品か。
870	余山	-	ヤス	基部	(49)	(9)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
871	余山	-	ヤス（または針）	先端部	(35)	(7)	(3)	シカ	中手／中足骨骨幹	
872	余山	-	ヤス	基部	(59)	(12)	(10)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
873	余山	-	ヤス	中間部	(37)	(9)	(7)	シカ？	中手／中足骨骨幹？	
874	余山	-	ヤス	基部	(33)	(7)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工か。
875	余山	-	ヤス	基部	(37)	(9)	(7)	シカ？	中手／中足骨骨端？	
876	余山	-	ヤス	基部	(26)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
877	余山	-	ヤス	基部	(40)	(12)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
878	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	腓骨骨幹	
879	余山	-	ヤス	中間部	(45)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
880	余山	-	ヤス	基部	(51)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
881	余山	-	ヤス	中間部	(49)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
882	余山	-	ヤス	基部	(62)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
883	余山	-	針	先端部	(44)	(7)	(6)	シカ／イノシシ？	不明	シカ角または中手／中足骨？
884	余山	-	ヤス未成品	中間部	(65)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
885	余山	-	ヤス	中間部	(53)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
886	余山	-	ヤス	基部	(77)	(11)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	未成品か。
887	余山	-	ヤス	中間部	(47)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
888	余山	-	ヤス	基部	(80)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
889	余山	-	ヤス	先端部	(67)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	再加工。
890	余山	-	ヤス	中間部	(64)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨幹	
891	余山	-	ヤス	基部	(43)	(11)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
892	余山	-	ヤス	基部	(59)	(10)	(11)	シカ	中手／中足骨骨端	
893	余山	-	ヤス	先端部	(49)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	針の可能性残る。695、742、751 と似る。

第1部 調査報告

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
894	余山	-	ヤス	基部	(60)	(12)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
895	余山	-	ヤス	基部	(36)	(10)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
896	余山	-	ヤス	基部	(54)	(10)	(9)	シカ	中手／中足骨骨端	
897	余山	-	非加工	-	-	-	-	小型哺乳類	肋骨破片	
898	余山	-	ヤス	中間部	(37)	(8)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	未成品か。
899	余山	-	ヤス	基部	(46)	(9)	(8)	シカ	中手／中足骨骨端	
900	余山	-	ヤス	基部	(42)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
901	余山	-	ヤス	基部	(32)	(10)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
902	余山	-	ヤス	先端部	(41)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	被熱、風化。
903	余山	-	ヤス	基部	(36)	(7)	(6)	シカ	中手／中足骨骨幹	
904	余山	-	ヤス	基部	(34)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨端	
905	余山	-	ヤス	先端部	(42)	(8)	(5)	シカ	中手／中足骨骨幹	
906	余山	-	ヤス	中間部	(39)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨幹	
907	余山	-	ヤス	先端部	(35)	(11)	(6)	シカ？	中手／中足骨骨幹？	再加工。
908	余山	-	針	先端部	(41)	(7)	(6)	シカ／イノシシ？	不明	シカ角または中手／中足骨？
909	余山	-	ヤス	基部	(50)	(9)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	
910	余山	-	ヤス	基部	(53)	(11)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
911	余山	-	ヤス	先端部	(51)	(10)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	再加工。
912	余山	-	ヤス	先端部	(60)	(9)	(4)	シカ	中手／中足骨骨幹	
913	余山	-	ヤスカ	先端部か	(54)	(9)	(4)	シカ？	中足骨？骨幹	風化。
914	余山	-	鈎針	軸部	(55)	(6)	(6)	シカ	角	
915	余山	-	鈎針未成品	軸頂部	(40)	(9)	(7)	シカ	中手／中足骨骨端	
916	余山	-	ヤス	中間部	(47)	(4)	(6)	シカ？	中手／中足骨骨幹？	
917	余山	-	鈎針	軸部	(55)	(6)	(7)	シカ	角	
918	余山	-	鈎針か	軸部か	(18)	(5)	(6)	シカ	角	
919	余山	-	針	頭部	(50)	(6)	(6)	シカ	中手／中足骨骨端	撥形の頭部。
920	余山	-	鈎針	軸部	(38)	(5)	(5)	シカ／イノシシ？	不明	シカ角または中手／中足骨？
921	余山	-	鈎針	軸部	(51)	(4)	(4)	シカ？	角？	
922	余山	-	鈎針	軸部	(89)	(7)	(6)	シカ	角	
923	余山	-	切断痕のある鹿角片	不明	(30)	(12)	(8)	シカ	角	
924	余山	-	鈎針	軸部	(62)	(6)	(6)	シカ？	角？	
925	余山	-	鈎針	軸部	(72)	(6)	(6)	シカ	角	
926	余山	-	非加工	-	-	-	-	小型哺乳類	四肢骨骨幹	
927	余山	-	鈎針	軸部	(29)	(6)	(6)	シカ	角	
928	余山	-	非加工	-	-	-	-	イノシシ	左腓骨骨幹	
929	余山	-	切断痕のある鹿角	頭骨～角座～幹	(285)	(61)	(64)	シカ	左前頭骨＋角	
930	余山	-	ヤス	基部	(39)	(11)	(6)	未同定	未同定	
931	余山	-	不明	-	(48)	(10)	(8)	未同定	未同定	非加工。「ヒト／左尺骨の遠位端付近」のメモ付き。
932	-	1188	鈎針	軸頂部	(34)	(5)	(6)	未同定	未同定	
933	-	1188	鈎針	軸部～湾曲部	(34)	(6)	(7)	未同定	未同定	横位の切り込み痕跡あり。未成品の破損か。
934	-	-	ヤス	基部か	(74)	(9)	(8)	未同定	未同定	
935	-	-	ヤス	中位	(48)	(8)	(5)	未同定	未同定	
936	-	-	ヤス	先端	(47)	(10)	(6)	未同定	未同定	
937	-	-	ヤス	基部	(54)	(11)	(8)	未同定	未同定	再加工
938	-	-	ヤス	先端	(25)	(8)	(4)	未同定	未同定	
939	-	-	ヤス	基部	(18)	(11)	(7)	未同定	未同定	
940	-	-	鈺頭か	基部か	(42)	(12)	(6)	未同定	未同定	
941	-	-	鈺頭か	先端か	(62)	(11)	(5)	未同定	未同定	
942	-	-	針	基部	(49)	(6)	(5)	未同定	未同定	
943	-	-	針	先端	(38)	(6)	(7)	未同定	未同定	
944	-	1188	鈎針	軸頂部	(29)	(4)	(4)	未同定	未同定	
945	-	-	非加工か	-	-	-	-	未同定	未同定	
946	-	-	ヤス（未成品か）	中位	(101)	(8)	(6)	未同定	未同定	
947	-	-	ヤス	基部	(47)	(10)	(6)	未同定	未同定	
948	-	-	ヤス	基部	(52)	(11)	(7)	未同定	未同定	
949	-	-	ヤス	基部	(63)	(9)	(9)	未同定	未同定	
950	-	-	ヤス	基部	(40)	(8)	(7)	未同定	未同定	
951	-	-	ヤス（または針）	先端	(50)	(6)	(4)	未同定	未同定	
952	-	-	ヤス	基部	(44)	(8)	(5)	未同定	未同定	
953	-	-	鈺頭	先端	(45)	(9)	(6)	未同定	未同定	
954	-	-	鈺頭	先端	(24)	(12)	(6)	未同定	未同定	
955	-	-	鈺頭か	先端	(22)	(6)	(6)	未同定	未同定	
956	-	-	鈎針か	軸部か	(32)	(6)	(6)	未同定	未同定	
957	-	-	鈎針か	先端	(26)	(6)	(7)	未同定	未同定	
958	-	-	不明	-	(34)	(8)	(6)	未同定	未同定	
959	-	1188	鈎針	軸頂部	(26)	(4)	(5)	未同定	未同定	
960	-	1188	鈎針（または針）	軸部	(25)	(4)	(4)	未同定	未同定	
961	-	1188	鈎針	軸頂端部	(14)	(4)	(4)	未同定	未同定	
962	-	4	ヤス	基部端	(11)	(7)	(4)	未同定	未同定	
963	-	1188	ヤス	中位	(25)	(5)	(4)	未同定	未同定	
964	不明	-	非加工	-	-	-	-	未同定	未同定	注記判読不能。
965	-	1188	鈎針（または針）	軸部	(48)	(6)	(6)	未同定	未同定	
966	-	1188	鈎針	軸部	(27)	(6)	(6)	未同定	未同定	
967	-	-	ヤス	基部	(99)	(12)	(8)	未同定	未同定	
968	-	-	ヤス	先端	(50)	(12)	(5)	未同定	未同定	
969	-	-	ヤス	基部	(59)	(9)	(7)	未同定	未同定	
970	-	-	ヤス	基部	(41)	(7)	(6)	未同定	未同定	
971	-	-	ヤス	中位	(40)	(11)	(5)	未同定	未同定	
972	-	-	ヤス	基部	(54)	(7)	(6)	未同定	未同定	被熱による黒化？基部側に帯状に残る。
973	-	-	ヤス素材	-	(82)	(16)	(6)	未同定	未同定	
974	-	1188	鈎針	軸部～湾曲部	(38)	(6)	(5)	未同定	未同定	
975	-	1188	鈎針	軸部	(39)	(5)	(5)	未同定	未同定	

標本 番号	遺跡名 注記	番号 注記	器種・名称	残存状況	長さ	幅	厚さ	素材種類	素材部位	備考
976	-	-	釣針	軸頂部	(23)	(8)	(6)	未同定	未同定	
977	-	-	銚頭	基部	(43)	(12)	(8)	未同定	未同定	
978	-	-	銚頭	先端片	(19)	(12)	(12)	未同定	未同定	離頭
979	-	-	ヤス	先端	(81)	(11)	(7)	未同定	未同定	
980	-	-	ヤス	先端	(72)	(10)	(7)	未同定	未同定	
981	-	-	ヤス	基部	(68)	(11)	(6)	未同定	未同定	
982	-	-	ヤス	先端	(71)	(10)	(6)	未同定	未同定	
983	-	-	ヤス	中位	(58)	(12)	(7)	未同定	未同定	
984	-	-	ヤス	先端	(48)	(7)	(5)	未同定	未同定	
985	-	-	ヤス	基部	(39)	(8)	(6)	未同定	未同定	
986	-	-	ヤス	基部	(37)	(12)	(7)	未同定	未同定	
987	-	-	ヤス	中位	(50)	(10)	(6)	未同定	未同定	
988	-	-	ヤス	基部	(30)	(10)	(5)	未同定	未同定	
989	-	-	ヤス	基部	(43)	(7)	(8)	未同定	未同定	
990	-	-	ヤス	中位	(60)	(9)	(8)	未同定	未同定	
991	-	-	ヤス	中位	(67)	(36)	(32)	未同定	未同定	
992	-	-	ヤス	中位	(73)	(35)	(32)	未同定	未同定	
993	-	-	ヤス	中位	(80)	(35)	(30)	未同定	未同定	
994	-	-	ヤス	中位	(81)	(36)	(32)	未同定	未同定	
995	-	-	ヤス（または針）	中位	(59)	(31)	(30)	未同定	未同定	
996	-	-	ヤス素材	端部	(112)	(39)	(32)	未同定	未同定	
997	-	-	刺突具	先端	(68)	(33)	(30)	未同定	未同定	

《註》

- ・上表は、下郷コレクション中の骨角器のうち「余山貝塚」の注記をもつもの、およびその周辺において管理されていた個体を対象にリスト化したものである。
- ・当資料群受け入れ時には、個体番号を与えられていなかったため、今回新たに「標本番号」としてナンバリングした。なお標本番号は採集地ごとに振られている。
- ・計測単位はミリメートルで、残存部での計測値については括弧で表記した。
- ・「器種・名称」欄で「非加工」としたものは自然遺物であり、今回は計測を行わなかった。
- ・「番号注記」欄で「X」としている部分は判読不能を示す。

第7表 貝輪の観察

作業用 仮番号	殻長(mm)	殻高(mm)	同定	現存状態	工程	備考	注記	製作方法からみた 採集地の判断
1	83	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅱ		-	△
2	84	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	▼
3	76	66	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ	虫蝕	-	△
4	71	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅱ		-	△
5	80	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		宮戸	×
6	77	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	▼
7	83	68	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ		-	△
8	81	70	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ		-	△
9	69	63	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅰ		-	△
10	72	61	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ		-	△
11	85	71	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ		-	△
12	—	—	サトウガイ(フネガイ科)	欠損	Ⅳ		-	△
13	69	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ	余山らしい作り方。外縁打ち欠き。	-	○
14	70	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	△
15	—	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ	余山らしい。	-	○
16	68	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	△
17	73	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅲ		-	△
18	67	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	△
19	75	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	▼
20	69	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	▼
21	72	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	△
22	73	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ	東北?	-	▼
23	74	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅲ	外縁打ち割り	-	△
24	76	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅳ		-	▼
25	75	—	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅱ		-	△
26	78	66	ベンケイガイ(タマキガイ)	欠損	Ⅱ		-	△
27	75	64	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ		-	△
28	79	66	ベンケイガイ(タマキガイ)	完形	Ⅱ		-	△
29	60	53	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
30	63	54	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
31	64	—	サトウガイ(フネガイ科)	欠損	Ⅰ		-	△
32	65	52	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
33	70	59	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
34	—	70	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ	虫蝕	-	△
35	66	53	サトウガイ(フネガイ科)	完形	-	非加工品	-	△
36	62	54	サトウガイ(フネガイ科)	完形	-	非加工品	-	△
37	58	49	サトウガイ(フネガイ科)	完形	-	非加工品	-	△
38	62	54	サトウガイ(フネガイ科)	完形	-	非加工品	-	△
39	59	52	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
40	62	51	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
41	69	55	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
42	67	53	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
43	77	62	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
44	72	59	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
45	77	60	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
46	66	57	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
47	69	56	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
48	66	57	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
49	76	57	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
50	79	62	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
51	68	56	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
52	69	52	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅰ		-	△
53	64	51	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅱ		-	△
54	68	52	サトウガイ(フネガイ科)	完形	Ⅱ		-	△
55	67	62	サトウガイ(フネガイ科)					

《註》

- ・上表中の個体は、下郷コレクション中の貝輪（未成品含む）から余山貝塚からの採集品と推定される一群の中から選定したものであるが、遺跡名注記を欠くため、余山貝塚の標本番号は付与されていない。したがって、作業用仮番号をあらたに付与し、これにより現在保管されている。
- ・また、管理記録ではすべて余山貝塚出土品となっているため、個体単位での採集遺跡の峻別が出来ないため、ここでは以下の区分を行い、検討を行った。
 - ：製作技法からみて余山と判断したもの。
 - △：一応「余山」としておくもの。
 - ▼：柏戸所（東北）と製作方法が似ており、余山と異なると判断されたもの。
 - ×：余山以外の注記があり、余山ではないと判断するもの。
- ・工程の記号は、Ⅰ：殻頂打ち抜き、Ⅱ：穿孔拡張、Ⅲ：口縁打ち欠き、Ⅳ：研磨を表す。